さんだ里山スマートシティに関する
アンケート調査結果報告書

令和４年１月

目次

１．調査概要 1
（１）調査の目的 1
（２）調査の内容 1
（３）調査の実施概要 2
（４）標本誤差 2
（５）報告書の見方 3
２．調査結果の分析 5
回答方法について 5
(1) 居住地区 6
(2) 性別 7
(3) 年齢 8
(4) 世帯構成 9
(5) 職業 10
(6) 通勤・通学先や事業を営んでいる場所 11
(7) デジタル化による暮らしの変化 12
(8) デジタル化による期待 16
(9) スマートシティ推進にあたり重視すべきこと 21
(10) 市政情報の入手方法 26
(11) インターネットの利用状況 29
(12) インターネット利用の機器 30
(13) インターネット接続回線の種類 32
(14) 過去１年間に利用したインターネットサービス 33
(15) インターネット利用頻度 35
(16) スマートフォン・タブレット端末の利用状況 36
(17) スマートフォンなどを使わない理由 38
(18) スマートフォンなどの利用につながること 40
(19) 自由意見 42

（参考）さんだ里山スマートシティに関するアンケート調査票

（*1～25 の用語の説明は、（参考）さんだ里山スマートシティに関するアンケート調査票 P10,11 の用語集をご参照ください）

１．調査概要

（１）調査の目的

三田市では、デジタル技術やデータ利活用等により、様々な地域課題の解決、市民生活の質の向上、都市機能の利便性向上を図る「さんだ里山スマートシティ[*1]」の実現を目指した取り組みを進めることとしています。

誰もがデジタル化によるメリットを得ることができる、そのようなスマートシティ[*2]を市民の皆さまと共に創っていくために、現在のインターネットの利用状況やインターネット利用による生活の変化、今後のデジタル化に期待することなどを幅広くお聞きする「さんだ里山スマートシティに関するアンケート調査」を実施しました。

なお、本調査はさんだ里山スマートシティ構想策定のため、三田市市政への市民参加条例第 8 条第 3 号の規定による意向調査手続として実施したものです。

（２）調査の内容

①回答者の属性について

問１　居住地区
問２　性別
問３　年齢
問４　世帯構成
問５　職業
問６　通勤・通学先

②デジタル化やさんだ里山スマートシティについて

問７　デジタル化による暮らしの変化
問８　デジタル化により期待するサービスやシステム
問９　スマートシティ推進にあたり重視すべきこと

③市政情報の入手方法、インターネット、情報通信機器の利用状況について

問 10　市からの行政情報の入手手段
問 11　インターネットの利用
問 12　インターネット利用の機器
問 13　インターネット接続回線
問 14　過去 1 年間に利用したインターネットの機能・サービス
問 15　インターネットの利用頻度
問 16　スマートフォン等の利用
問 17　スマートフォン等を利用しない理由
問 18　スマートフォン等の利用につながること
問 19　さんだ里山スマートシティに関する意見

（３）調査の実施概要

①調査対象者

三田市内にお住まいの基準日（令和３年 10 月 1 日）時点で 18 歳以上（92,750 人）の方の中から無作為に選ばせていただいた 3,000 人。

②調査方法

調査票郵送配布、郵送回答またはインターネット回答のいずれかを選択。

③調査期間

令和 3 年 10 月 1 日（金）～10 月 15 日（金）

④調査実施結果

有効配布数 2,993 件（不到着 7 件）
回答総数：1,585 件（回答率：53.0%）
うち郵送回答：965 件
うちインターネット回答：620 件

（４）標本誤差

一般的に、標本調査においては、標本（有効回答）から母集団（総人口）の精度として、信頼度 95%のレベルでの結果を評価することが妥当とされています。

（信頼度 95%とは、同一の調査を 100 回実施すれば 95 回は、この結果数値の前後の一定の幅の間におさまるということ。）

そして、この信頼度 95%における測定値（%）の標本誤差は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N：母集団数（18 歳以上の市民 92,750 人（令和３年９月末日現在））
n：標本数（本調査では回答総数＝1,585）
P：測定値（%）（本調査では回答比率）

【信頼度 95%における主要な標本誤差】

標本数	P(%) / n	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
	3,000	±0.8%	±1.1%	±1.3%	±1.4%	±1.5%	±1.6%	±1.7%	±1.8%	±1.8%	±1.8%
	2,500	±0.9%	±1.2%	±1.4%	±1.6%	±1.7%	±1.8%	±1.9%	±1.9%	±2.0%	±2.0%
	2,000	±1.0%	±1.3%	±1.6%	±1.8%	±1.9%	±2.0%	±2.1%	±2.2%	±2.2%	±2.2%
全体	**1,585**	**±1.1%**	**±1.5%**	**±1.8%**	**±2.0%**	**±2.2%**	**±2.3%**	**±2.4%**	**±2.4%**	**±2.5%**	**±2.5%**
	1,500	±1.1%	±1.5%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.3%	±2.4%	±2.5%	±2.5%	±2.6%
	1,000	±1.4%	±1.9%	±2.2%	±2.5%	±2.7%	±2.9%	±3.0%	±3.1%	±3.1%	±3.1%
	500	±1.9%	±2.7%	±3.2%	±3.6%	±3.9%	±4.1%	±4.3%	±4.4%	±4.4%	±4.5%
	250	±2.8%	±3.8%	±4.5%	±5.1%	±5.5%	±5.8%	±6.0%	±6.2%	±6.3%	±6.3%
	100	±4.4%	±6.0%	±7.1%	±8.0%	±8.7%	±9.2%	±9.5%	±9.8%	±9.9%	±10.0%

この表について、例えば、回答総数（1,585）を 100.0%とする設問で、選択肢に対する回答率が 90%であった場合、18 歳以上の市民（92,750 人）における回答比率の誤差範囲は、±1.5%（88.5%～91.5%）の間であることを推測できます。

なお、クロス集計の場合、回答者数（該当者数）が 50 人未満の場合は標本誤差が多いため、参考に留めてください。

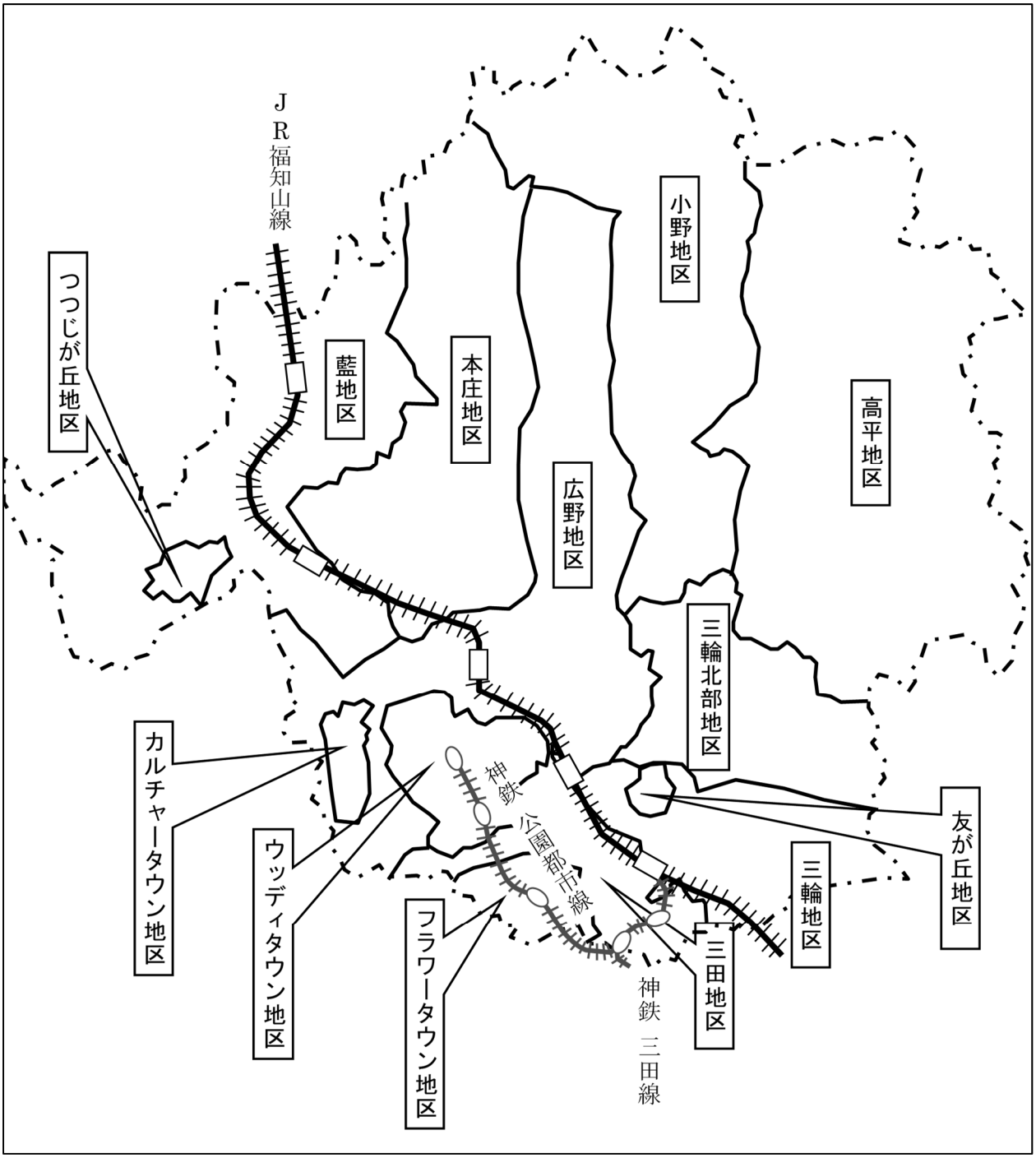
（5）報告書の見方

① 集計結果は、小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。複数回答を求めた設問は、回答者に対する割合を示しているので合計が 100%を超えています。

② 「全体」は、回答者数(1,585)であり、「回答総数」は複数回答の場合の全回答数を指しています。「n」は各設問の母数を、「n(該当者)」は回答者を特定した場合の母数を表しています。

③ 地区別集計は、地区区分として、三田地区、三輪北部地区（志手原小学校区）、友が丘地区、三輪地区（三輪北部地区・友が丘地区を除く）、広野地区、小野地区、高平地区、つつじが丘地区、藍地区（つつじが丘地区を除く）、本庄地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区に分けて分析しています。

④ 年代別や地域別は、対象者ごとに%を算出しており、複数回答については第 1 位、第 2 位、第 3 位として順位を表しています。なお、同率の場合は同一順位として以下の順位を繰り下げています。


高平地区
小野地区
三輪北部地区
友が丘地区
三輪地区
三田地区
広野地区
本庄地区
藍地区
つつじが丘地区
カルチャータウン地区
ウッディタウン地区
フラワータウン地区
JR福知山線
神鉄 公園都市線
神鉄 三田線

【地区区分図】

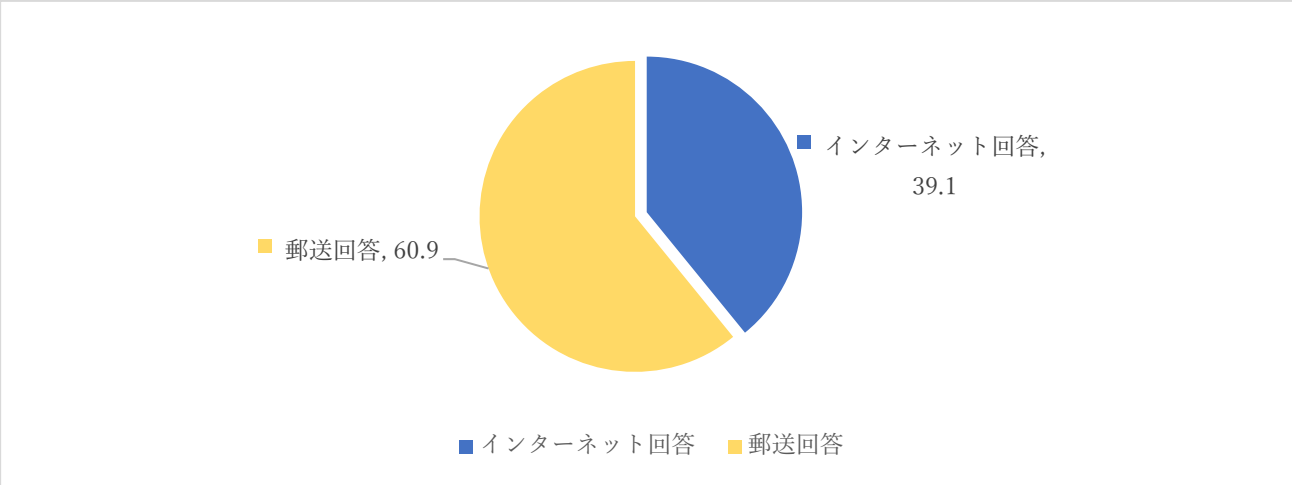
２．調査結果の分析

回答方法について

今回のアンケートは郵送回答かインターネット回答のいずれかを選択いただく方式です。

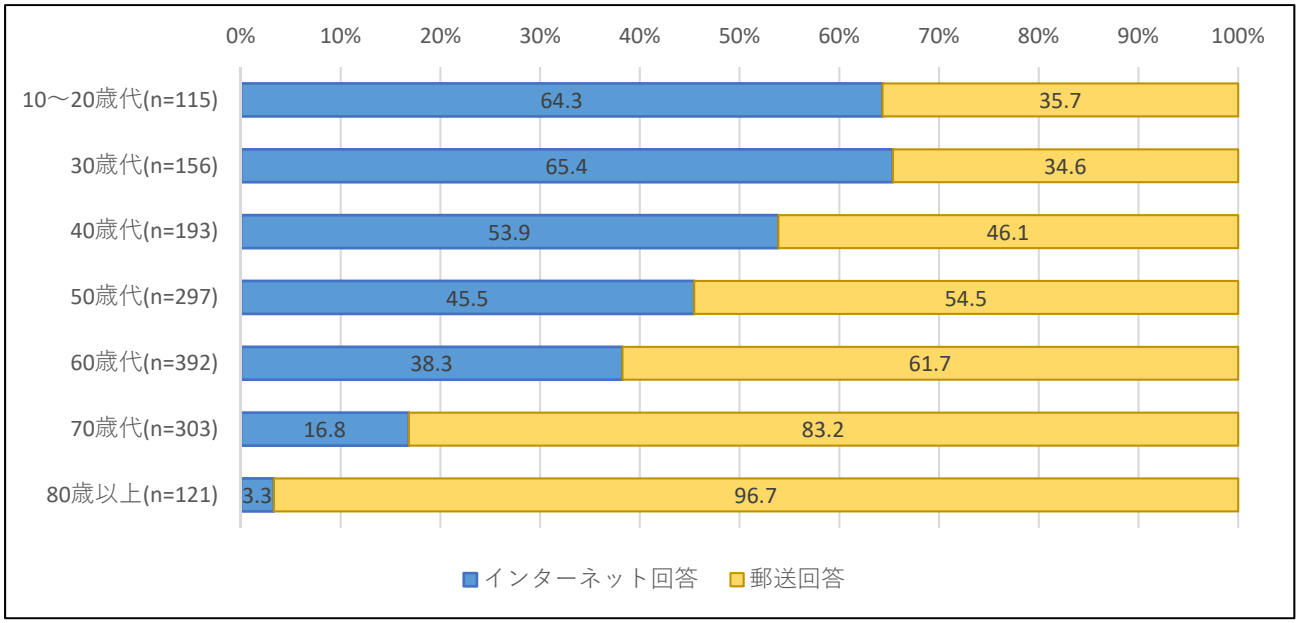
	回答数	割合(%)
郵送回答	965	60.9
インターネット回答	620	39.1
回答者数	1,585	

回答方法（N=1585）



回答方法はインターネット回答が 39.1%、郵送回答 60.9%でした。

回答方法（年代別）



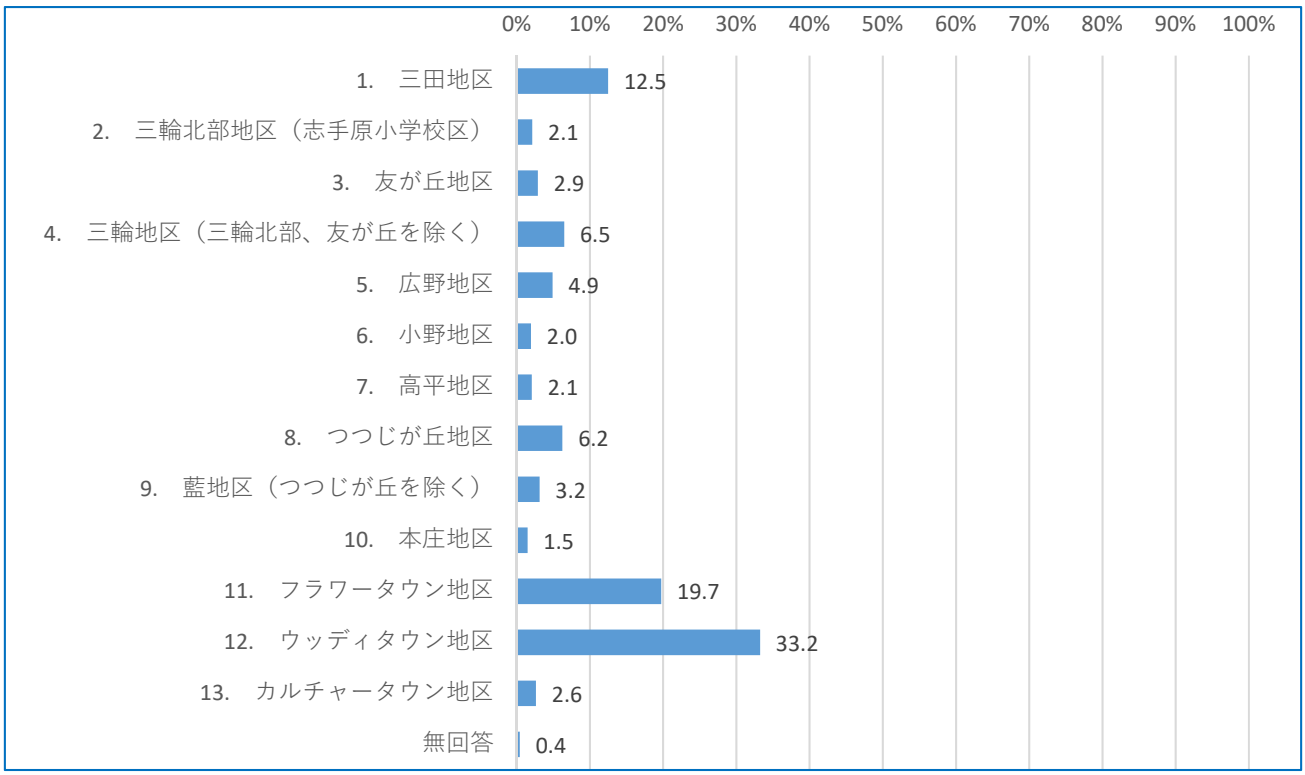
回答方法を年代別に見ると、若い世代ほどインターネット回答を選択する傾向が見られ、40 歳代まではインターネット回答の方が多数を占めています。50 歳代以降は郵送回答の方が多数を占め、80 歳代以上ではほとんどの人が郵送回答を選択しました。

（1）居住地区

■問１　あなたがお住まいの地区を選んでください。（該当する番号１つに○）

	回答数	割合(%)
1.　三田地区	198	12.5
2.　三輪北部地区（志手原小学校区）	34	2.1
3.　友が丘地区	46	2.9
4.　三輪地区（三輪北部、友が丘を除く）	103	6.5
5.　広野地区	78	4.9
6.　小野地区	31	2.0
7.　高平地区	33	2.1
8.　つつじが丘地区	99	6.2
9.　藍地区（つつじが丘を除く）	50	3.2
10.　本庄地区	24	1.5
11.　フラワータウン地区	313	19.7
12.　ウッディタウン地区	527	33.2
13.　カルチャータウン地区	42	2.6
無回答	7	0.4
回答者数	1,578	

居住地区（N=1578）



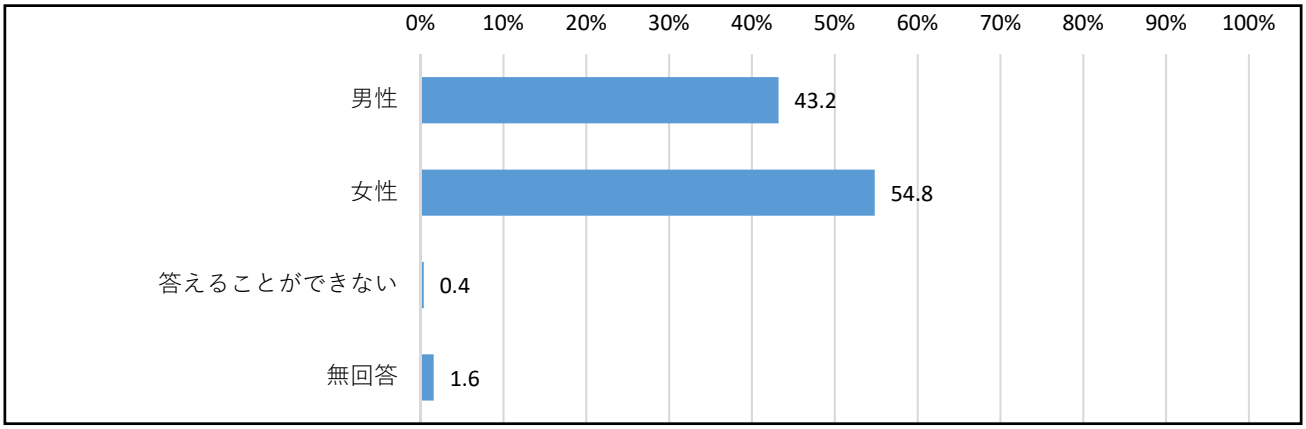
居住地区は、ウッディタウン地区が 33.2%で最も多くなっています。次いで、フラワータウン地区 19.7%、三田地区 12.5%の順となっています。

（2）性別

■問２　あなた自身が思われる性別を選んでください。（該当する番号を１つ選択）

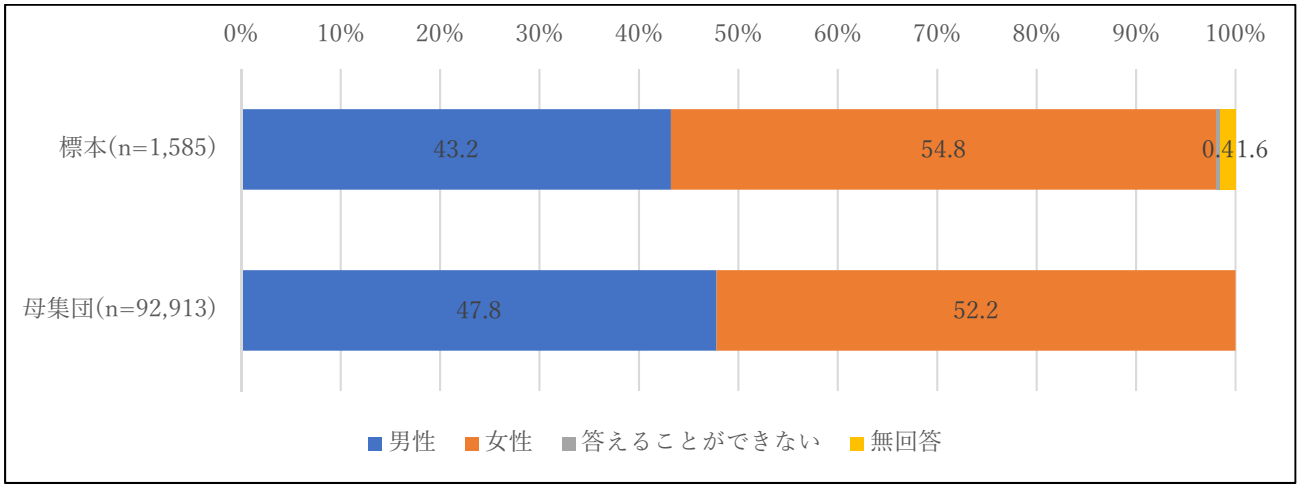
	回答数	割合(%)
1.　男性	685	43.2
2.　女性	869	54.8
3.　答えることができない	6	0.4
無回答	25	1.6
回答者数	1,560	

性別（N=1560）



性別は、男性が 43.2%、女性が 54.8%、答えることができないは 0.4%となっています。

性別（母集団との比較）



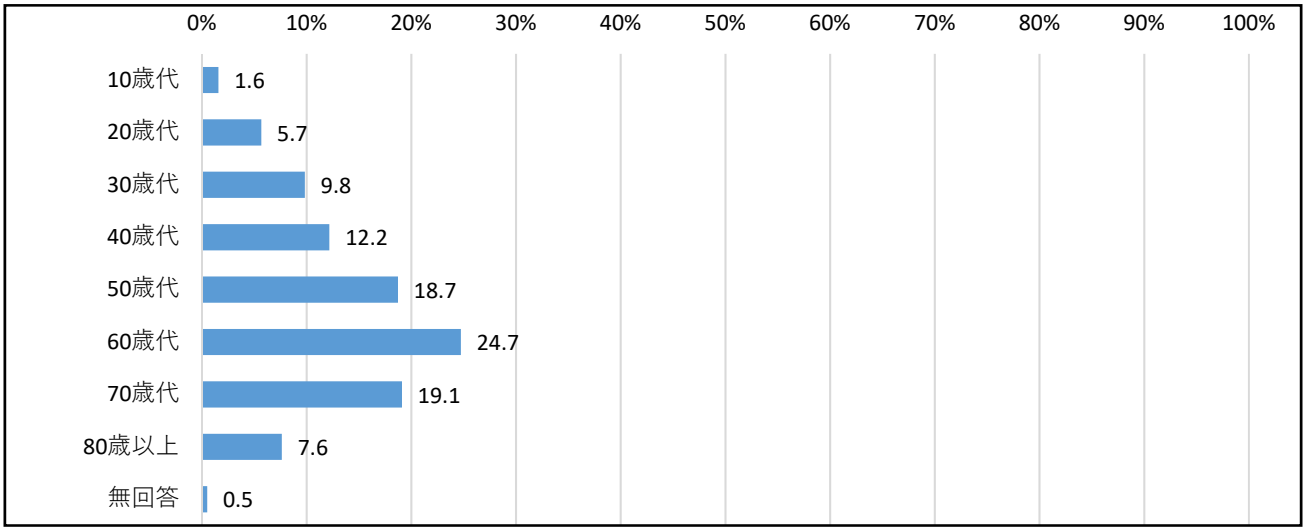
性別について母集団と比較すると、男性が 4.6 ポイント少なく、女性が 2.6 ポイント多くなっています。

（3）年齢

■問３　令和３年１０月１日現在のあなたの年齢を選んでください。（該当する番号を１つ選択）

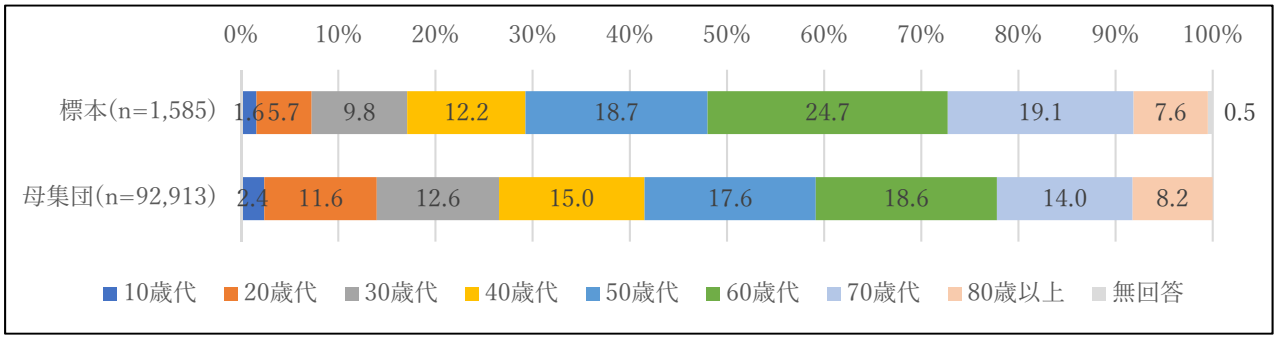
	回答数	割合(%)
１．　10 歳代	25	1.6
２．　20 歳代	90	5.7
３．　30 歳代	156	9.8
４．　40 歳代	193	12.2
５．　50 歳代	297	18.7
６．　60 歳代	392	24.7
７．　70 歳代	303	19.1
８．　80 歳以上	121	7.6
無回答	8	0.5
回答者数	1,577	

年齢（N=1577）



年齢は、60 歳代が 24.7%と最も多くなっています。次いで、70 歳代（19.1%）、50 歳代（18.7%）の順となっています。

年齢（母集団との比較）



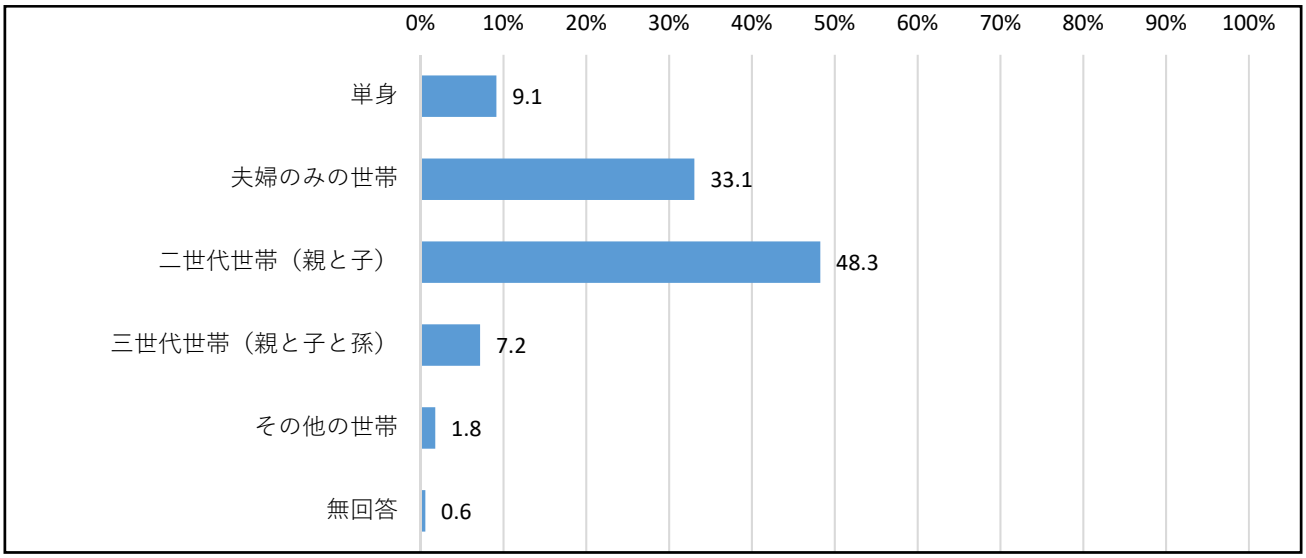
年齢について母集団と比較すると、50～70 歳代で多くなっています。

（4）世帯構成

■問４　あなたの世帯構成を選んでください。（該当する番号を１つ選択）

	回答数	割合(%)
1.　単身	145	9.1
2.　夫婦のみの世帯	524	33.1
3.　二世代世帯（親と子）	765	48.3
4.　三世代世帯（親と子と孫）	114	7.2
5.　その他の世帯	28	1.8
無回答	9	0.6
回答者数	1,576	

世帯構成（N=1576）



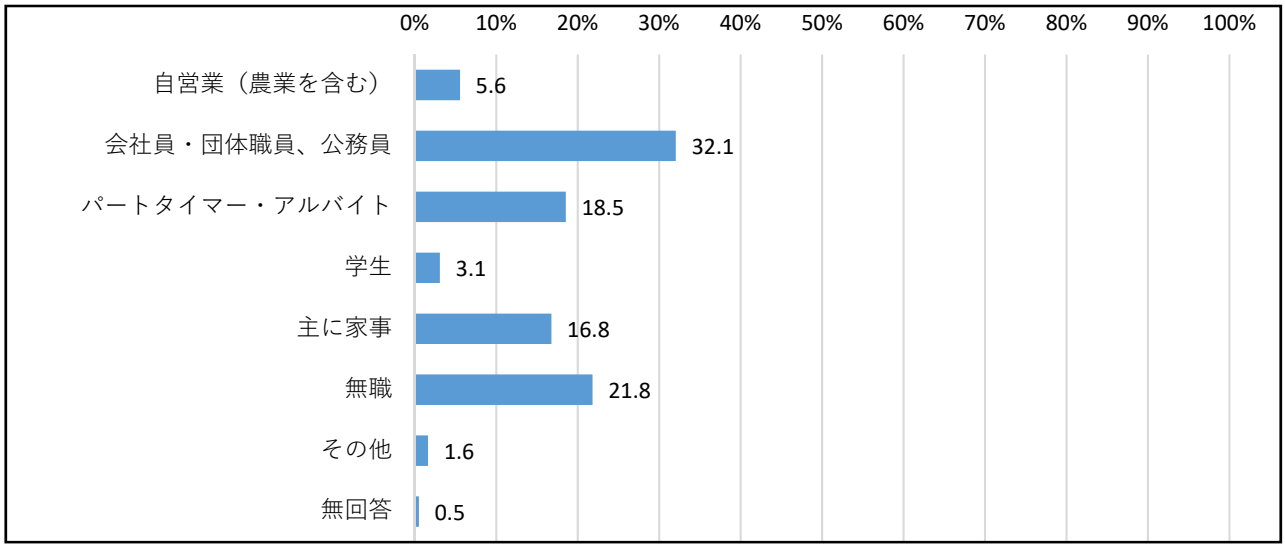
世帯構成は、「二世代世帯（親と子）」が最も多くなっています。次いで、「夫婦のみの世帯」（33.1%）、「単身」（9.1%）、「三世代世帯（親と子と孫）」（7.2%）の順となっています。

（5）職業

■問５　あなたの職業を選んでください。（該当する番号を１つ選択）

	回答数	割合(%)
1.　自営業（農業を含む）	88	5.6
2.　会社員・団体職員、公務員	508	32.1
3.　パートタイマー・アルバイト	294	18.5
4.　学生	49	3.1
5.　主に家事	266	16.8
6.　無職	346	21.8
7.　その他	26	1.6
無回答	8	0.5
回答者数	1,577	

職業（N=1577）



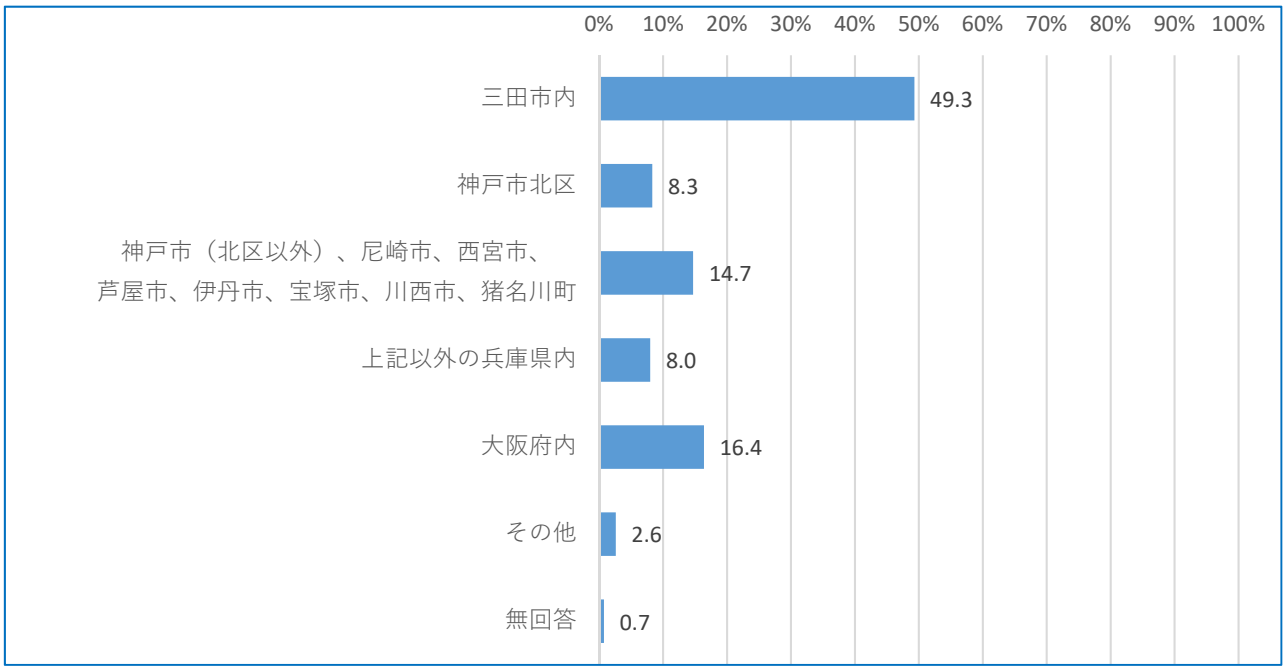
職業は、「会社員・団体職員、公務員」が32.1%と最も多くなっています。次いで、「無職」が21.8%、「パートタイマー・アルバイト」が18.5%、「主に家事」が16.8%となっています。

（6）通勤・通学先や事業を営んでいる場所

■問６　通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。（該当する番号を１つ選択）

	回答数	割合(%)
1.　三田市内	463	49.3
2.　神戸市北区	78	8.3
3.　神戸市（北区以外）、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町	138	14.7
4.　上記１、２，３以外の兵庫県内	75	8.0
5.　大阪府内	154	16.4
6.　その他	24	2.6
無回答	7	0.7
回答者数	932	

通勤・通学先や事業を営んでいる場所（N=932）



職業で「自営業（農業を含む）」「会社員・団体職員、公務員」「パートタイマー・アルバイト」「学生」を選択した人を対象に、通勤・通学先について尋ねたところ、「三田市内」が 49.3%と最も多くなっています。次いで、「大阪府内」（16.4%）、「神戸市（北区以外）、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町」（14.7%）の順となっています。

（7）デジタル化による暮らしの変化

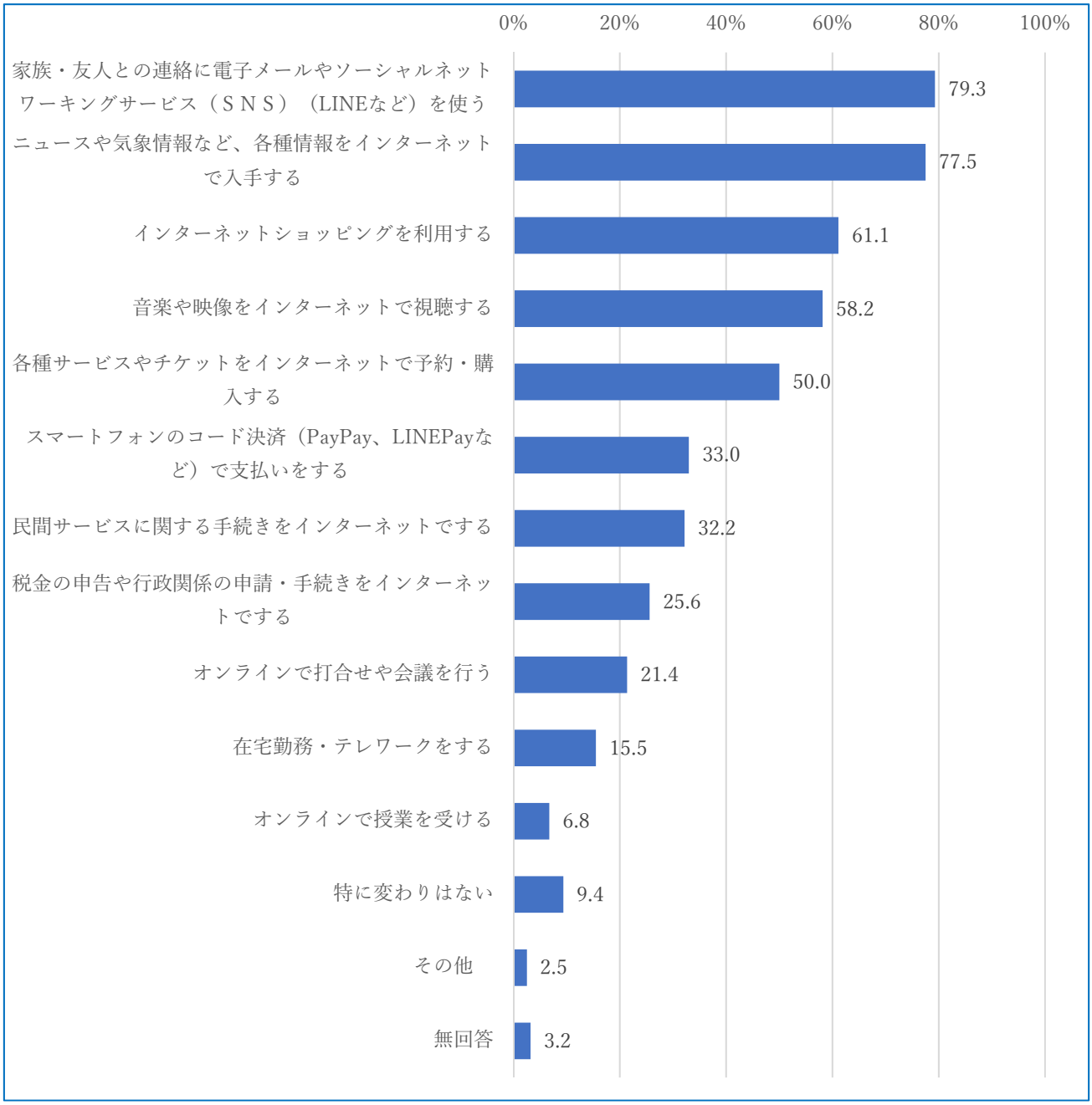
■問７　インターネットやスマートフォンの普及、社会のデジタル化によってあなたの暮らしに変化があったことはありますか。（該当する番号すべてを選択）

	回答数	割合(%)
1.　ニュースや気象情報など、各種情報をインターネットで入手する	1,229	77.5
2.　家族・友人との連絡に電子メール*3 やソーシャルネットワーキングサービス（ＳＮＳ）*4（LINE など）を使う	1,257	79.3
3.　税金の申告や行政関係の申請・手続きをインターネットでする	406	25.6
4.　音楽や映像をインターネットで視聴する	922	58.2
5.　各種サービスやチケットをインターネットで予約・購入する	793	50.0
6.　民間サービスに関する手続きをインターネットでする	510	32.2
7.　スマートフォンのコード決済*5（PayPay、LINEPay など）で支払いをする	523	33.0
8.　インターネットショッピングを利用する	969	61.1
9.　在宅勤務・テレワーク*6 をする	246	15.5
10.　オンラインで打合せや会議を行う	339	21.4
11.　オンラインで授業を受ける	107	6.8
12.　特に変わりはない	149	9.4
13.　その他	40	2.5
無回答	51	3.2
回答者数	1,534	

「13.　その他」の主な内容

・バーチャル旅行、オンラインによる資格取得、オンライン診療、病院の診察予約、趣味の発表会をオンラインでする、スマホのゲーム、ビデオ通話、スマートフォンによる学習、株取引、ヘルスケア入力（睡眠時間、体重等）

デジタル化による暮らしの変化（N=1585）



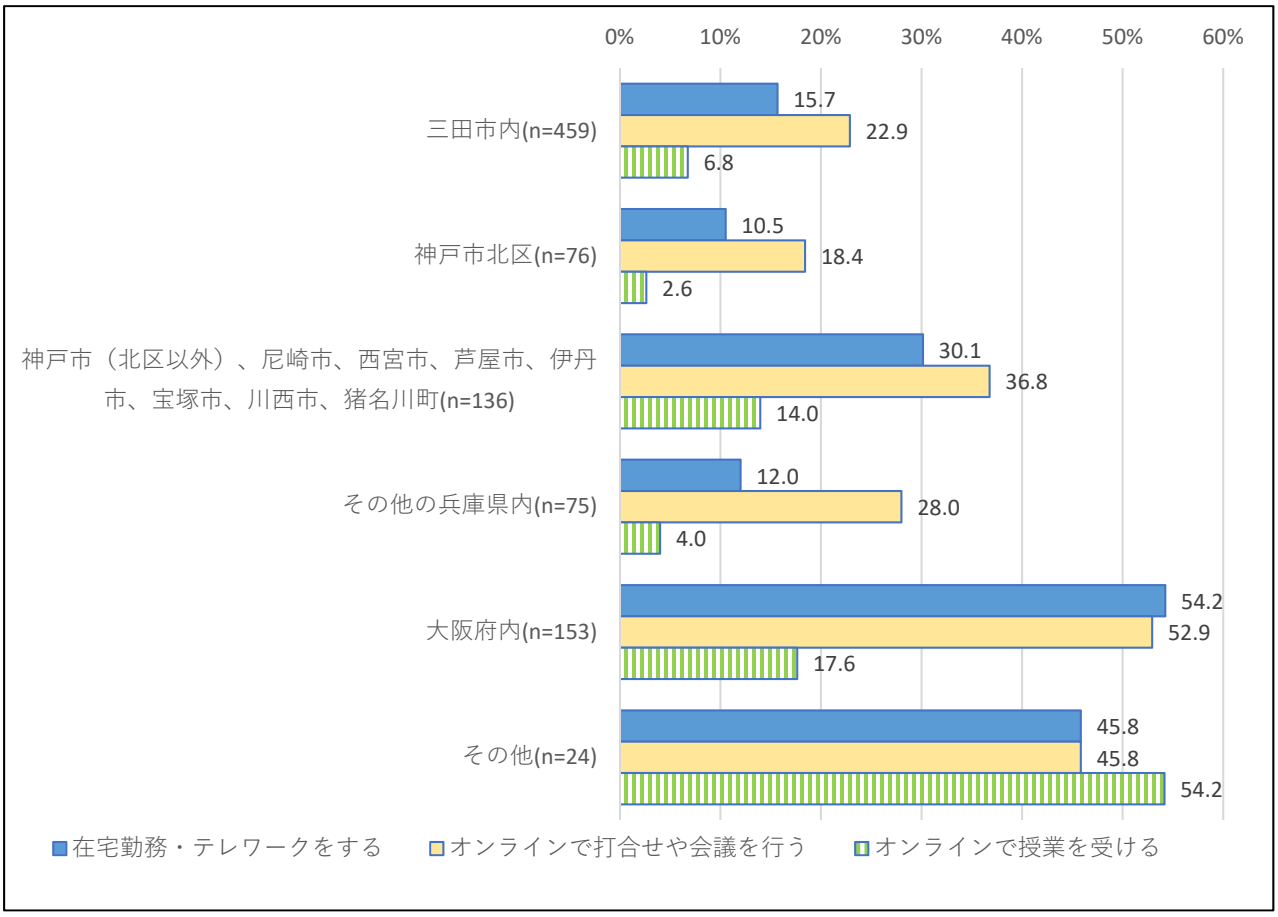
インターネットやスマートフォンの普及、社会のデジタル化によって暮らしに変化があったことについて尋ねた結果、「電子メールや SNS を利用」が 79.3%で最も多くなっています。次いで、「各種情報をインターネットで入手」(77.5%)、「インターネットショッピングを利用」(61.1%)、「音楽や映像をインターネットで視聴」(58.2%)、「各種サービスやチケットをインターネットで予約・購入」(50.0%) の順となっています。一方で「行政関係の申請・手続き」は 25.6%、「オンライン会議など」は 21.4%、「在宅勤務・テレワーク」は 15.5%などとなっています。「特に変わりはない」は 9.4%でした。

デジタル化による暮らしの変化（年代別）

	10～20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
ニュースや気象情報など、各種情報をインターネットで入手する	99	86.1	140	89.7	174	90.2	278	93.6	326	83.2	182	60.1	26	21.5
家族・友人との連絡に電子メール*3やSNS*4（LINEなど）を使う	106	92.2	137	87.8	170	88.1	265	89.2	338	86.2	202	66.7	35	28.9
税金の申告や行政関係の申請・手続きをインターネットでする	21	18.3	62	39.7	60	31.1	97	32.7	114	29.1	46	15.2	6	5.0
音楽や映像をインターネットで視聴する	106	92.2	134	85.9	155	80.3	223	75.1	209	53.3	81	26.7	12	9.9
各種サービスやチケットをインターネットで予約・購入する	87	75.7	127	81.4	151	78.2	196	66.0	170	43.4	58	19.1	4	3.3
民間サービスに関する手続きをインターネットでする	42	36.5	78	50.0	90	46.6	136	45.8	121	30.9	40	13.2	3	2.5
スマートフォンのコード決済*5（PayPay、LINEPayなど）で支払う	59	51.3	98	62.8	89	46.1	134	45.1	110	28.1	32	10.6	1	0.8
インターネットショッピングを利用する	95	82.6	135	86.5	158	81.9	231	77.8	233	59.4	100	33.0	15	12.4
在宅勤務・テレワーク*6をする	25	21.7	36	23.1	53	27.5	63	21.2	60	15.3	7	2.3	1	0.8
オンラインで打合せや会議を行う	34	29.6	47	30.1	66	34.2	83	27.9	84	21.4	24	7.9	1	0.8
オンラインで授業を受ける	41	35.7	13	8.3	24	12.4	13	4.4	10	2.6	4	1.3	1	0.8
特に変わりはない	2	1.7	5	3.2	3	1.6	7	2.4	20	5.1	64	21.1	46	38.0
その他	2	1.7	1	0.6	1	0.5	2	0.7	7	1.8	12	4.0	15	12.4
無回答	1	0.9	0	0.0	2	1.0	0	0.0	8	2.0	14	4.6	23	19.0
回答者数	114		156		191		297		384		289		98	

デジタル化による暮らしの変化について年代別に見ると、「ニュースや気象情報など、各種情報をインターネットで入手する」「家族・友人との連絡に電子メールやソーシャルネットワーキングサービス（ＳＮＳ）（LINEなど）を使う」は70歳代までで割合が多い一方、80歳代では「特に変わりはない」の割合が最も多くなっています。また「音楽や映像をインターネットで視聴する」は10～20歳代で最も割合が高くなっています。

デジタル化による暮らしの変化（通勤通学先別）



デジタル化による暮らしの変化のうち、在宅勤務・テレワークやオンライン会議・打合せについて通勤・通学先別に見ると、遠方への通勤・通学者ほど割合が多くなっている傾向が見られました。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

テレワークのニーズが一定程度あるため、テレワーク拠点を三田市内に整備することで、通勤の負荷軽減等につなげられると考えられます。さんだ里山スマートシティの取り組みにおいては、多様な働き方を応援できるまちづくりを進めていきたいと考えています。

（8）デジタル化による期待

■問８　今後、社会のデジタル化が進むことによって、あなたが特に期待するサービスやシステムは以下の事例のうちどれですか（該当する番号すべてを選択）

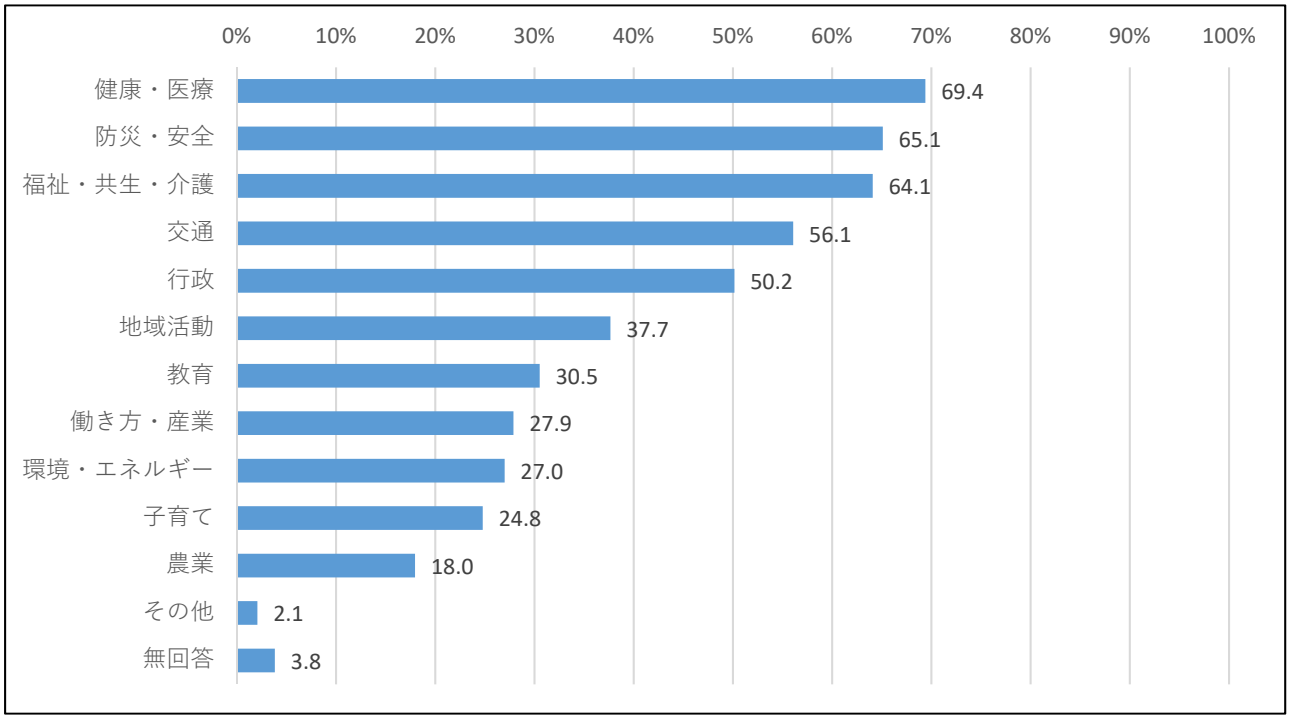
	回答数	割合(%)
1.　健康・医療　（検診情報、診療・投薬情報、体重・血圧などの情報が本人同意のもとに医療機関などで共有され、遠隔診療*7 や健康アドバイスが受けられる。）	1,100	69.4
2.　福祉・共生・介護　（高齢者や障害者が移動、コミュニケーション、日常生活等をスムーズに行うために簡単に使えるデジタル機器やサービスの導入が進む。）	1,016	64.1
3.　働き方・産業　（オフィス以外でのテレワークが普及する。作業の安全性を高めるためにＡＩ（人工知能*8）による機械の自動化・遠隔操作が可能になる。）	442	27.9
4.　子育て　（子どもの年齢に応じて子育てに役立つ情報が自動的に配信されたり、市のホームページなどで簡単に見つけることができる。）	393	24.8
5.　教育　（児童・生徒ごとの理解度を判定して一人ひとりに合わせた教育を受けることができる。家庭と学校との連絡がスマートフォンなどを通じてできる。）	484	30.5
6.　交通　（駅やバス停などへの短距離の移動を支える新たな移動サービス（無人電動カートなど）やデマンド型（予約型）乗合タクシー・自動運転バスなどが利用できる。）	889	56.1
7.　地域活動　（電子メールやソーシャルネットワーキングサービス（ＳＮＳ）を活用し、自治会員や地域住民への情報発信・連絡を迅速化する（回覧板のデジタル化など）。）	597	37.7
8.　農業　（ＡＩ、ＩｏＴ*9 の活用や農業機械の自動化などにより農作業の負担軽減や生産性向上を図る。）	285	18.0
９．　防災・安全　（河川氾濫や土砂災害の危険性などが即時（リアルタイム）に通知され、避難判断や避難行動を支援する。）	1,032	65.1
10.　環境・エネルギー　（家庭の電気使用量の見える化や計測データに基づく省エネ診断・省エネアドバイスが受けられる。）	428	27.0
11.　行政　（年齢や家族構成により対象となる制度などの行政情報が電子メールやソーシャルネットワーキングサービス（ＳＮＳ）で届く。出生、転居などに伴い必要となる複数の手続きがオンラインでまとめてできる。）	795	50.2
12.　その他	33	2.1
無回答	61	3.8
回答者数	1,524	

「12.　その他」の主な内容

・使用方法の簡便化の支援体制

・通信料金の低価格利用
・リアルの市議会議員がネットを利用した市民全員参加型のリアルな議会制度
・行政の市民による監視
・小学校・欠席届の電子化。
・PTA での wifi 環境の活用
・仮想通貨による取引決済。ハイパーループ による交通時間短縮。SSPS による電力安定供給。無線送電による無電柱化。ゲノム編集による遺伝子治療等
・税金支払いのカード決済(ネット決済)
・みんながみんなパソコンやスマートフォンに明るいわけではないので基本はアナログで行なって欲しい。
・個人番号カードをベースに、会社、行政、病院および地域の情報が一元化され、年末調整、確定申告、保険証の提示といった行為が不要になる。
・遠隔の親の生活支援、遠隔の空き家や墓の管理が容易にできるようにする
・サイバー攻撃による、個人情報の漏れに早く気付ける。適切に対処出来る専門の会社と連携出来る。
・市の芸術　文化等の活動　イベントの提案。
・行政等の各種調査が充実する、又データの集積により実態に沿った地方行政が実現する。
・地上波 TV しかなく自宅の電話やチャンネル設置で地域の情報がわかり易いと手軽でよい
・詐欺メールが来て怖い思いをし、なるべく使わないようにしているので、何も期待していません。

デジタル化により期待するサービスやシステム（N=1585）



今後、社会のデジタル化が進むことによって、特に期待するサービスやシステムについて尋ねた結果、「健康・医療」（69.4%）が最も多く、「防災・安全」（65.1%）、「福祉・共生・介護」（64.1%）、「交通」（56.1%）、「行政」（50.2%）が続きました。

デジタル化により期待するサービスやシステム（年代別）

	10～20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
健康・医療	68	59.1	92	59.0	127	65.8	207	69.7	312	79.6	222	73.3	68	56.2
防災・安全	74	64.3	107	68.6	126	65.3	230	77.4	277	70.7	166	54.8	48	39.7
福祉・共生・介護	46	40.0	69	44.2	103	53.4	204	68.7	289	73.7	222	73.3	78	64.5
交通	73	63.5	87	55.8	88	45.6	186	62.6	232	59.2	161	53.1	58	47.9
行政	50	43.5	106	67.9	107	55.4	202	68.0	204	52.0	103	34.0	21	17.4
地域活動	35	30.4	57	36.5	80	41.5	145	48.8	166	42.3	94	31.0	18	14.9
教育	60	52.2	97	62.2	100	51.8	96	32.3	75	19.1	42	13.9	12	9.9
働き方・産業	63	54.8	79	50.6	74	38.3	96	32.3	95	24.2	31	10.2	4	3.3
環境・エネルギー	33	28.7	53	34.0	55	28.5	107	36.0	96	24.5	66	21.8	17	14.0
子育て	52	45.2	86	55.1	65	33.7	74	24.9	70	17.9	33	10.9	11	9.1
農業	28	24.3	46	29.5	45	23.3	68	22.9	67	17.1	26	8.6	5	4.1
その他	2	1.7	3	1.9	5	2.6	5	1.7	8	2.0	3	1.0	7	5.8
無回答	1	0.9	2	1.3	1	0.5	3	1.0	12	3.1	18	5.9	22	18.2
回答者数	114		154		192		294		380		285		99	

デジタル化により期待するサービスやシステムについて年代別に見ると、「健康・医療」はいずれの年代にも期待されている割合が多い一方、「防災・安全」「教育」「働き方・産業」は若い世代ほど期待されている割合が多くなっています。また「福祉・共生・介護」は高齢世帯ほど期待されている割合が高くなっています。

デジタル化により期待するサービスやシステム（居住地区別）その１

	三田地区		三輪北部地区		友が丘地区		三輪地区		広野地区		小野地区		高平地区	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
健康・医療	124	66.0	24	75.0	38	86.4	71	71.7	54	72.0	24	80.0	22	71.0
防災・安全	113	60.1	22	68.8	28	63.6	73	73.7	50	66.7	14	46.7	22	71.0
福祉・共生・介護	112	59.6	24	75.0	34	77.3	65	65.7	50	66.7	19	63.3	23	74.2
交通	90	47.9	17	53.1	31	70.5	53	53.5	42	56.0	17	56.7	16	51.6
行政	79	42.0	15	46.9	30	68.2	48	48.5	36	48.0	13	43.3	17	54.8
地域活動	54	28.7	12	37.5	26	59.1	42	42.4	24	32.0	5	16.7	12	38.7
教育	57	30.3	9	28.1	14	31.8	29	29.3	18	24.0	4	13.3	8	25.8
働き方・産業	50	26.6	10	31.3	13	29.5	29	29.3	21	28.0	4	13.3	7	22.6
環境・エネルギー	47	25.0	9	28.1	9	20.5	31	31.3	21	28.0	5	16.7	9	29.0
子育て	47	25.0	6	18.8	10	22.7	27	27.3	20	26.7	5	16.7	8	25.8
農業	31	16.5	7	21.9	10	22.7	21	21.2	15	20.0	6	20.0	7	22.6
その他	7	3.7	1	3.1	0	0.0	0	0.0	4	5.3	1	3.3	0	0.0
無回答	10	5.3	2	6.3	2	4.5	4	4.0	3	4.0	1	3.3	2	6.5
回答者数	188		32		44		99		75		30		31	

デジタル化により期待するサービスやシステム（居住地区別）その２

	つつじが丘地区		藍地区		本庄地区		フラワータウン地区		ウッディタウン地区		カルチャータウン地区	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
健康・医療	69	74.2	35	74.5	15	68.2	226	74.3	365	70.7	28	73.7
防災・安全	69	74.2	35	74.5	7	31.8	202	66.4	364	70.5	30	78.9
福祉・共生・介護	63	67.7	33	70.2	17	77.3	203	66.8	342	66.3	27	71.1
交通	51	54.8	30	63.8	15	68.2	182	59.9	313	60.7	29	76.3
行政	46	49.5	28	59.6	4	18.2	166	54.6	293	56.8	19	50.0
地域活動	41	44.1	20	42.6	4	18.2	113	37.2	225	43.6	18	47.4
教育	20	21.5	13	27.7	3	13.6	95	31.3	201	39.0	11	28.9
働き方・産業	22	23.7	17	36.2	1	4.5	80	26.3	174	33.7	14	36.8
環境・エネルギー	28	30.1	12	25.5	4	18.2	91	29.9	150	29.1	11	28.9
子育て	20	21.5	9	19.1	2	9.1	74	24.3	151	29.3	12	31.6
農業	11	11.8	15	31.9	2	9.1	55	18.1	96	18.6	9	23.7
その他	1	1.1	0	0.0	1	4.5	4	1.3	14	2.7	0	0.0
無回答	6	6.5	3	6.4	2	9.1	9	3.0	11	2.1	4	10.5
回答者数	93		47		22		304		516		38	

デジタル化により期待するサービスやシステムについて居住地区別に見ると、「健康・医療」「福祉・共生・介護」はいずれの地区にも期待されている割合が多い一方、「防災・安全」「交通」は地区により差が見られました。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

回答者数が少ないため標本誤差が大きい可能性がありますが、地域格差の解消に取り組む必要があると考えられます。さんだ里山スマートシティ実現に向けては、市民の誰もがデジタル活用の恩恵を受けられるように進めていきます。

(9) スマートシティ推進にあたり重視すべきこと

■問９　さんだ里山スマートシティの取り組みを進めるうえで、あなたが特に重視すべきと思うことは何ですか。(該当する番号すべてを選択)

	回答数	割合(%)
1.　全ての市民が等しく希望するサービスを利用できること	942	59.4
2.　個人情報の保護に関する法令を遵守した上で、透明性の高いルール、手続きに従い、本人同意を前提に個人情報を取得、提供を行うなど、市民のプライバシーの保護を徹底すること	861	54.3
3.　地域に根ざした持続的なスマートシティの実現のため、運営面、資金面での持続可能性を確保すること	504	31.8
4.　個人情報の漏洩防止や災害等の緊急事態に備えるために十分なセキュリティ対策を行うこと	938	59.2
5.　市民にとってサービス利用料が過度な負担とならないこと	948	59.8
6.　市民のニーズや課題を的確に反映した取り組みとなること	644	40.6
7.　市民の視点・意見を取り入れ、使いやすく、わかりやすいサービスとなるよう常に見直し、改善を続けること	910	57.4
8.　その他	40	2.5
無回答	66	4.2
回答者数	1,519	

「8.　その他」の主な内容

・知っている人だけが得にならないように、プッシュ型の施策が必要。

・魅力ある三田市への取り組み、通勤時間がハンディとならない仕組み作り。

・個人情報を犠牲にしてでも、便利なサービスを作ってほしい

・情報通信機器の利用に関して、年齢・体調・気力の衰えなどによって、疎外されている人への代替手段の構築。より簡単な方法の開発・維持。

・ネットサービスが緊急的に停止となった時の充分な改善・代替策がある。

・行政手続のスピードアップ、行政経費の削減

・三田市に住みたいと思わせる、コンセプトは中長期を検討したものとすること（日本の他都市でなく、海外の先進 IT 都市を参考)。

・全員が使えるものを意識すると大したことはできないので、より良くすることを主眼においてほしい

・三田ならではの、お仕着せでない技術活用

・なんでもかんでもデジタル化はやめてほしい

・旧三田区域の情報システム整備と高齢化が進んでいる交通不便な地域でもあるので一番に進めて欲しい

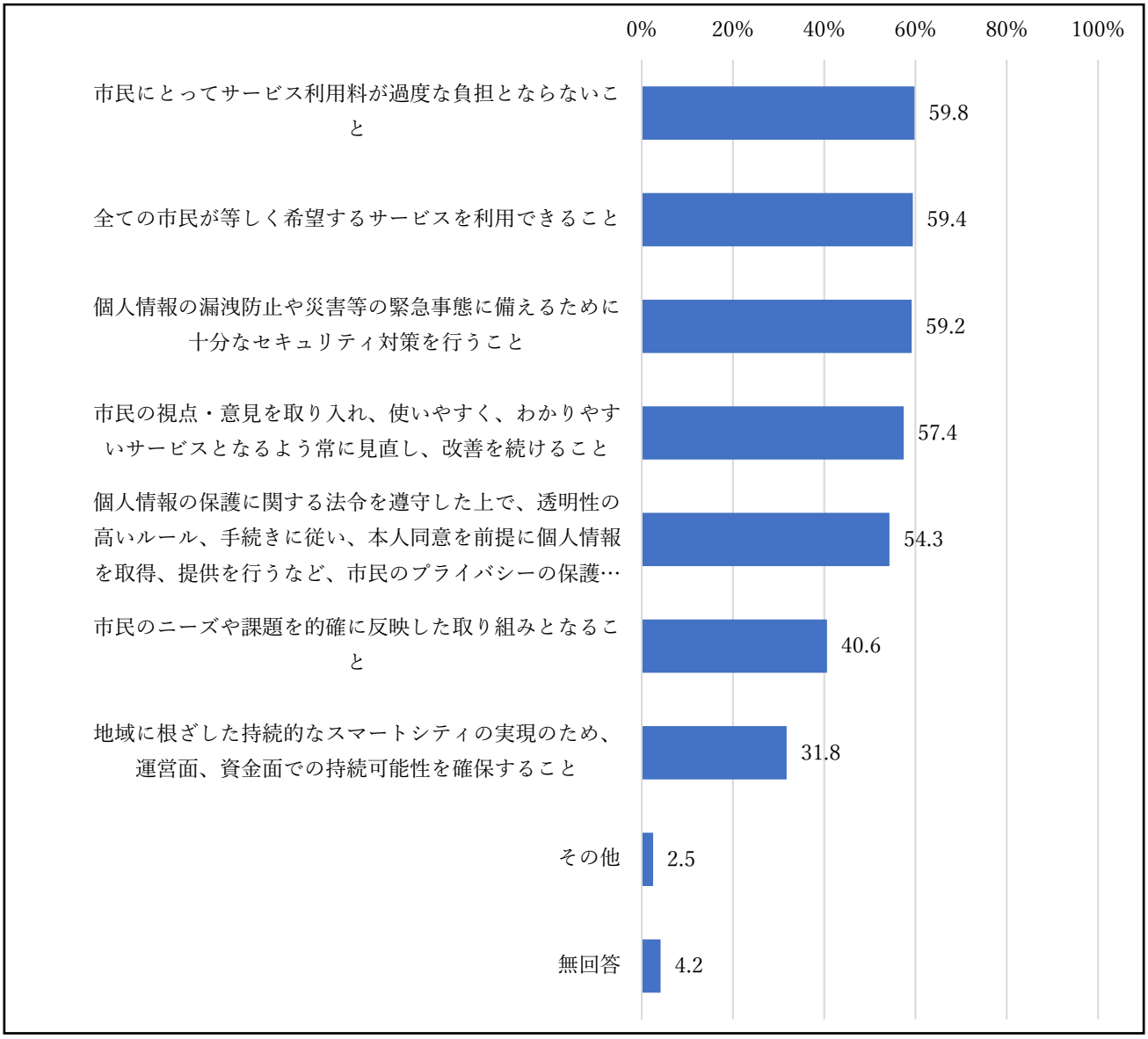
・システムのサステナビリティを確保するため、ハードウェア、ソフトウェア両方のグラウンドデザインを充分行うこと。

・ネット、スマホが使えない家庭に不利にならないこと

・情報が漏れる事が心配、管理社会になる事。

・デジタル化を希望しない市民にも情報やサービスがきちんと届くこと。
・利用料金は無料であること
・マイナンバーで一本化していいと思います。
・LINE の利用はやめるべき
・高年齢者でも取り組める仕組みを確立する事
・高齢者の単身世帯など IT 弱者が不当な不利益を被ることがない仕組みを構築してほしい。
・サービス利用料はなしの方が利用しやすいと考える
・個人情報の悪用者に対する厳罰にする法改正
・特別重要でない物は、両親等のパスワードの設定等を子がする事が多いので、世帯でグループ的なサービスもあった方が、年配の方の設定をこちらでできると思うので利用率が上がる気がします。
・市民の声に迅速に対応。「〇〇〇というクレーム、要望があった」→「△△△という対応、対処をした」など、市民の声に対する答えを提示する。
・農村部に重点を置いた施策を
・市民にとって本当に便利で必要なものになること。
・高齢者にも具体的に解る様に
・個人情報が漏洩する前提で取り組む

スマートシティ推進にあたり重視すべきこと（N=1585）



さんだ里山スマートシティの取り組みを進めるうえで、特に重視すべきと思うことについて尋ねた結果、「サービス利用料が過度な負担とならないこと」が 59.8%と最も多く、「全ての市民が等しくサービスを利用できること」(59.4%)、「十分なセキュリティ対策を行うこと」(59.2%)、「市民の視点・意見を取り入れ、常に見直し、改善を図ること」(57.4%)、「個人情報保護法令を遵守し、市民のプライバシーの保護を徹底すること」(54.3%) が続きました。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

特に重視すべき事項については留意して取り組む必要があり、さんだ里山スマートシティ構想の中のスマートシティ実現に向けた取り組みにおける「5 原則」に反映させていきます。

スマートシティ推進にあたり重視すべきこと（インターネット利用状況別）

	利用している		利用していないが、機会があれば利用したい		利用していないし、今後も利用する予定はない	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
市民にとってサービス利用料が過度な負担とならないこと	838	63.9	44	61.1	64	49.6
全ての市民が等しく希望するサービスを利用できること	804	61.3	54	75.0	81	62.8
個人情報の漏洩防止や災害等の緊急事態に備えるために十分なセキュリティ対策を行うこと	860	65.5	33	45.8	44	34.1
市民の視点・意見を取り入れ、使いやすく、わかりやすいサービスとなるよう常に見直し、改善を続けること	793	60.4	52	72.2	63	48.8
個人情報の保護に関する法令を遵守した上で、透明性の高いルール、手続きに従い、本人同意を前提に個人情報を取得、提供を行うなど、市民のプライバシーの保護を徹底すること	775	59.1	37	51.4	46	35.7
市民のニーズや課題を的確に反映した取り組みとなること	601	45.8	20	27.8	21	16.3
地域に根ざした持続的なスマートシティの実現のため、運営面、資金面での持続可能性を確保すること	469	35.7	14	19.4	20	15.5
その他	35	2.7	0	0.0	4	3.1
無回答	19	1.4	5	6.9	31	24.0
回答者数	1312		72		129	

スマートシティ推進にあたり重視すべきこと（スマートフォン等利用状況別）

	よく利用している		ときどき利用している		ほとんど利用していない		利用していない	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
市民にとってサービス利用料が過度な負担とならないこと	742	63.8	83	62.4	38	61.3	80	54.4
全ての市民が等しく希望するサービスを利用できること	719	61.8	86	64.7	40	64.5	91	61.9
個人情報の漏洩防止や災害等の緊急事態に備えるために十分なセキュリティ対策を行うこと	786	67.6	62	46.6	33	53.2	51	34.7
市民の視点・意見を取り入れ、使いやすく、わかりやすいサービスとなるよう常に見直し、改善を続けること	720	61.9	76	57.1	37	59.7	67	45.6
個人情報の保護に関する法令を遵守した上で、透明性の高いルール、手続きに従い、本人同意を前提に個人情報を取得、提供を行うなど、市民のプライバシーの保護を徹底すること	705	60.6	63	47.4	24	38.7	62	42.2
市民のニーズや課題を的確に反映した取り組みとなること	547	47.0	37	27.8	18	29.0	38	25.9
地域に根ざした持続的なスマートシティの実現のため、運営面、資金面での持続可能性を確保すること	439	37.7	27	20.3	13	21.0	23	15.6
その他	32	2.8	4	3.0	1	1.6	3	2.0
無回答	10	0.9	5	3.8	5	8.1	32	21.8
回答者数	1163		133		62		147	

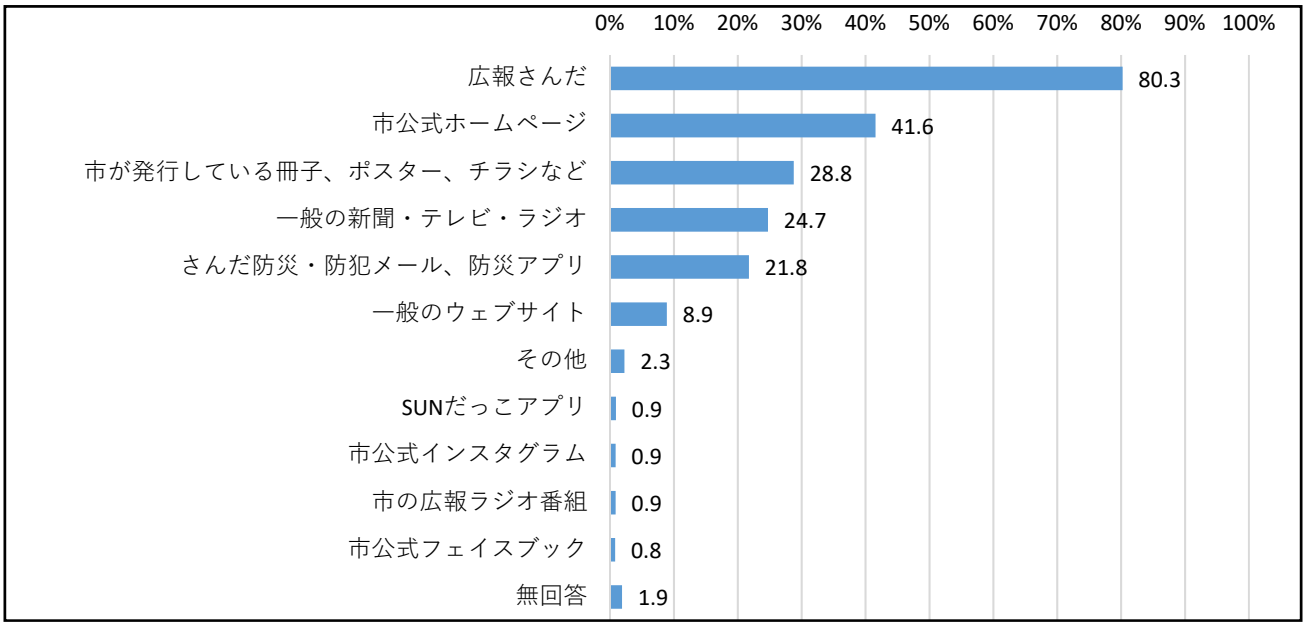
スマートシティ推進にあたり重視すべきことについてインターネット利用状況及びスマートフォン等利用状況の別に見ると、「サービス利用料が過度な負担とならないこと」「全ての市民が等しくサービスを利用できること」については利用状況に関係なく割合が高いのに対し、「十分なセキュリティ対策を行うこと」「個人情報保護法令を遵守し、市民のプライバシーの保護を徹底すること」については利用状況が活発な人ほど割合が高い傾向が見られました。

（10）市政情報の入手方法

■問 10　あなたは三田市からの行政情報をどのような方法で入手していますか。(該当する番号すべてを選択)

	回答数	割合(%)
1.　広報さんだ	1,272	80.3
2.　市が発行している冊子、ポスター、チラシなど	456	28.8
3.　市公式ホームページ	659	41.6
4.　市公式フェイスブック	13	0.8
5.　市公式インスタグラム	14	0.9
6.　さんだ防災・防犯メール、防災アプリ	345	21.8
7.　SUN だっこアプリ	15	0.9
8.　市の広報ラジオ番組	14	0.9
9.　一般の新聞・テレビ・ラジオ	392	24.7
10.　一般のウェブサイト	141	8.9
11.　その他	36	2.3
無回答	30	1.9
回答者数	1,555	

市からの行政情報の入手手段（N=1585）

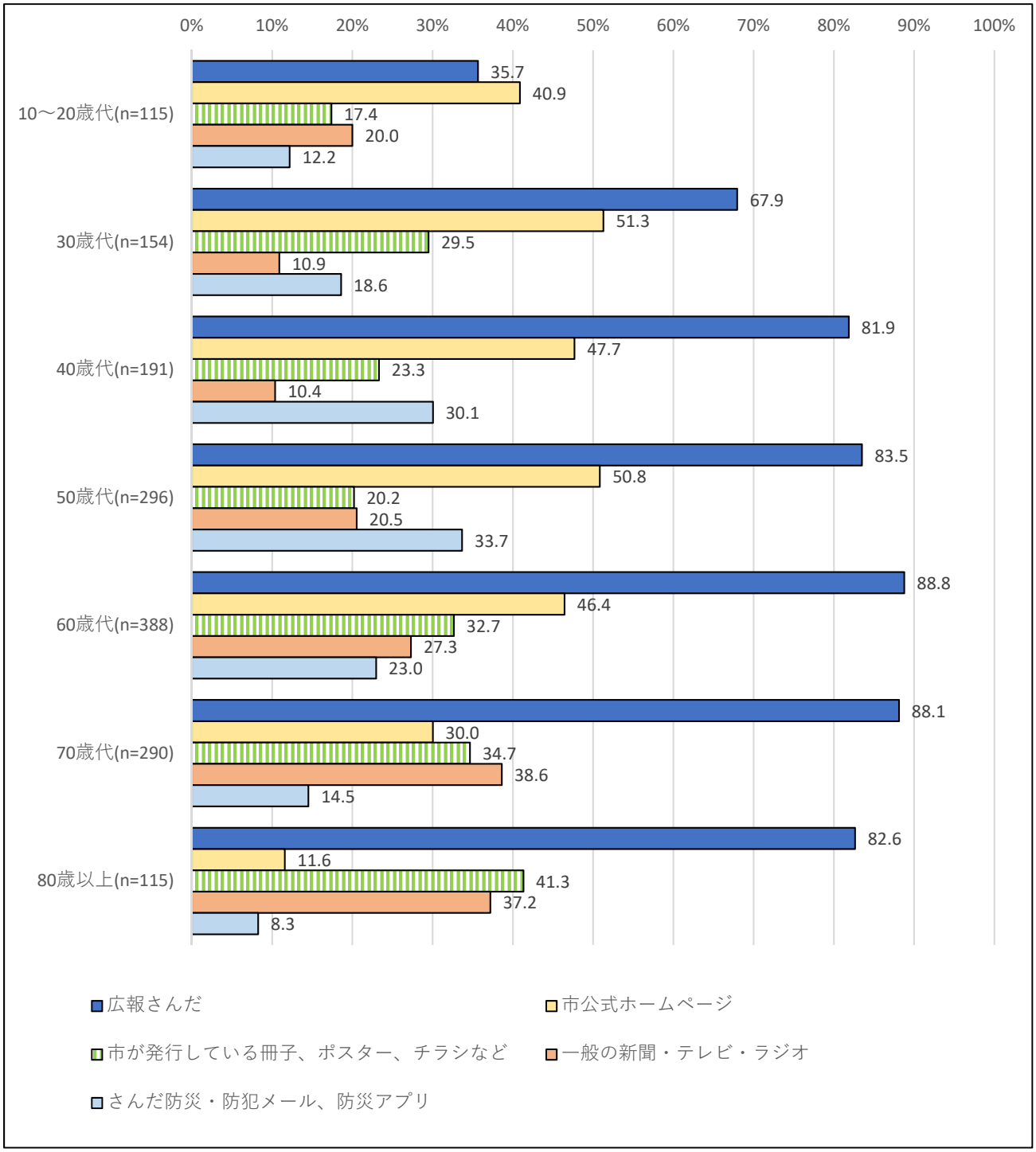


三田市からの行政情報をどのような方法で入手しているか尋ねた結果、「広報さんだ」が 80.3%で最も多く、「市公式ホームページ」(41.6%)、「市発行の冊子、ポスター、チラシ等」(28.8%)、「一般の新聞、テレビ、ラジオ」(24.7%)、「さんだ防災・防犯メール、防災アプリ」(21.8%）が続きました。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

広報さんだ以外での情報発信に課題があると考えられます。情報を分かりやすく届くように改善していきます。

市からの行政情報の入手手段（年代別）

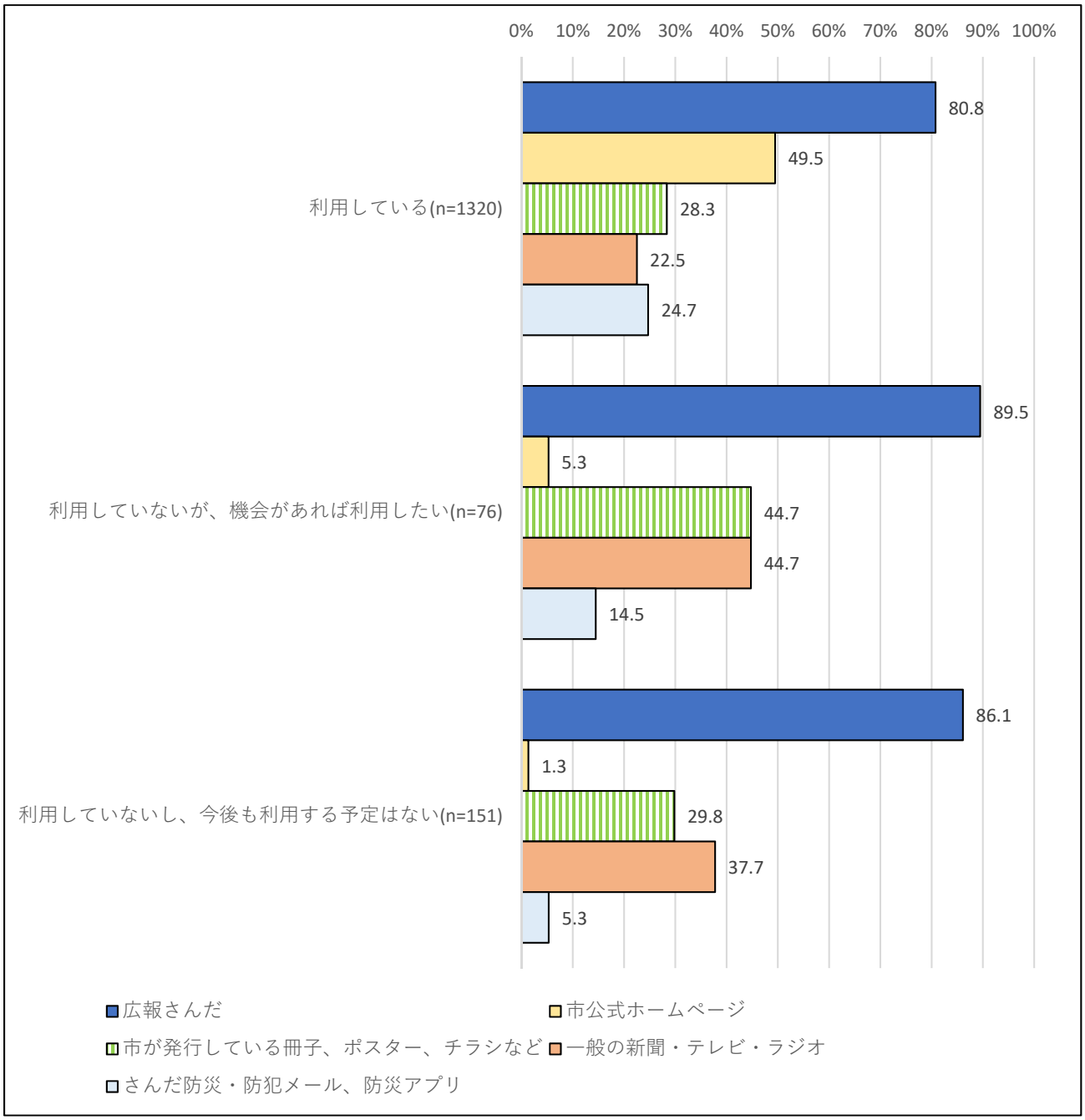


市からの行政情報の入手手段について年代別に見ると、「広報さんだ」は 40 歳代以上で 8 割、30 歳代で 6 割に上るほか、「市公式ホームページ」は 30～60 歳代で 5 割前後に上ります。一方で 10～20 歳代ではいずれの手段についても 5 割に達していませんでした。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

10～20 歳代の方への情報発信については、SNS の活用等によって、情報を分かりやすく届ける手法を検討していきます。

市からの行政情報の入手手段（インターネット利用状況別）



市からの行政情報の入手手段についてインターネット利用状況別に見ると、「市公式ホームページ」は利用している層でも約 5 割にとどまります。一方で「広報さんだ」は利用状況にかかわらず 8 割以上に上っています。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

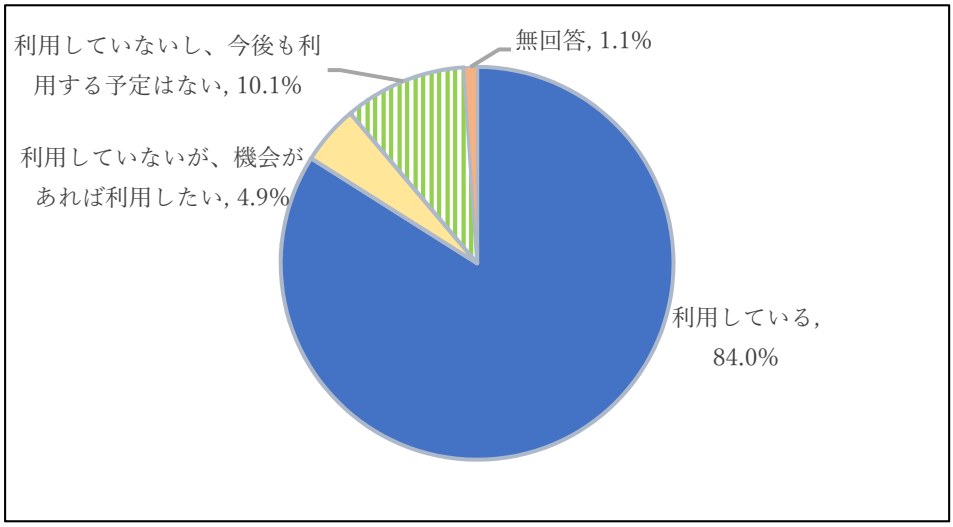
今後さらに市公式ホームページの利用が拡大するように、誰もが分かりやすく読みやすいウェブサイトの運営を進めていきます。

（11）インターネットの利用状況

■問 11　あなたはインターネットを利用していますか。（該当する番号１つを選択）

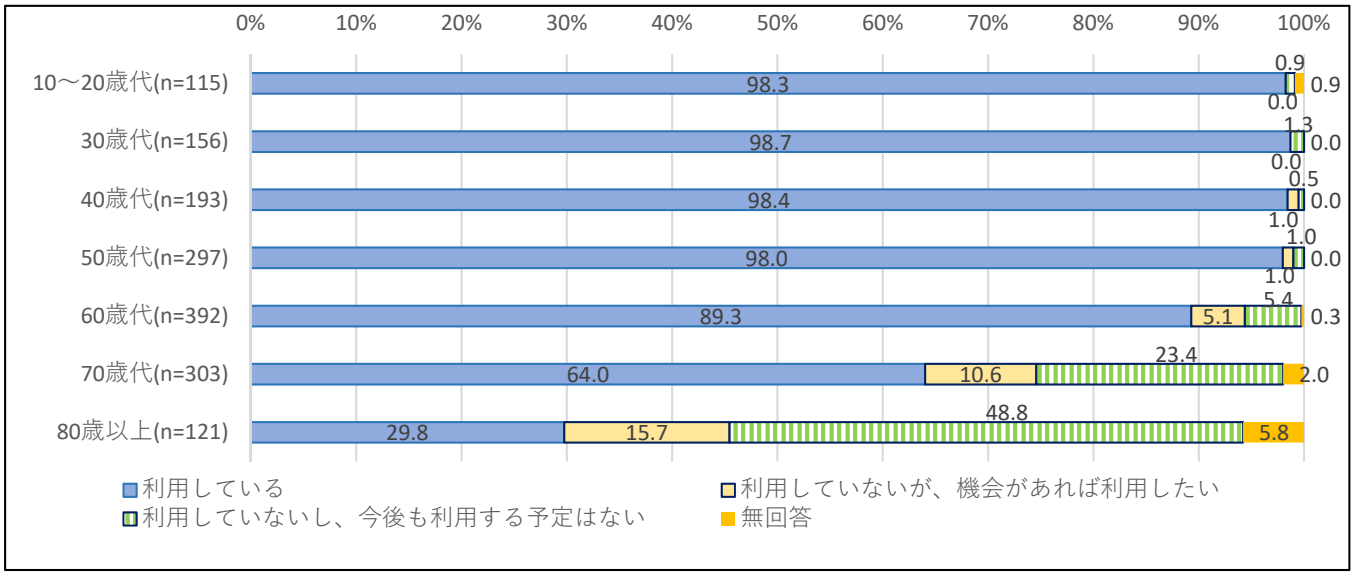
	回答数	割合(%)
1.　利用している	1,331	84.0
2.　利用していないが、機会があれば利用したい	77	4.9
3.　利用していないし、今後も利用する予定はない	160	10.1
無回答	17	1.1
回答者数	1,568	

インターネットの利用（N=1568）



インターネットの利用は、「利用している」が 84.0%と最も多くなっています。「利用していないが、機会があれば利用したい」は 4.9%、利用していないし、「今後も利用する予定はない」は 10.1%でした。

インターネットの利用（年代別）



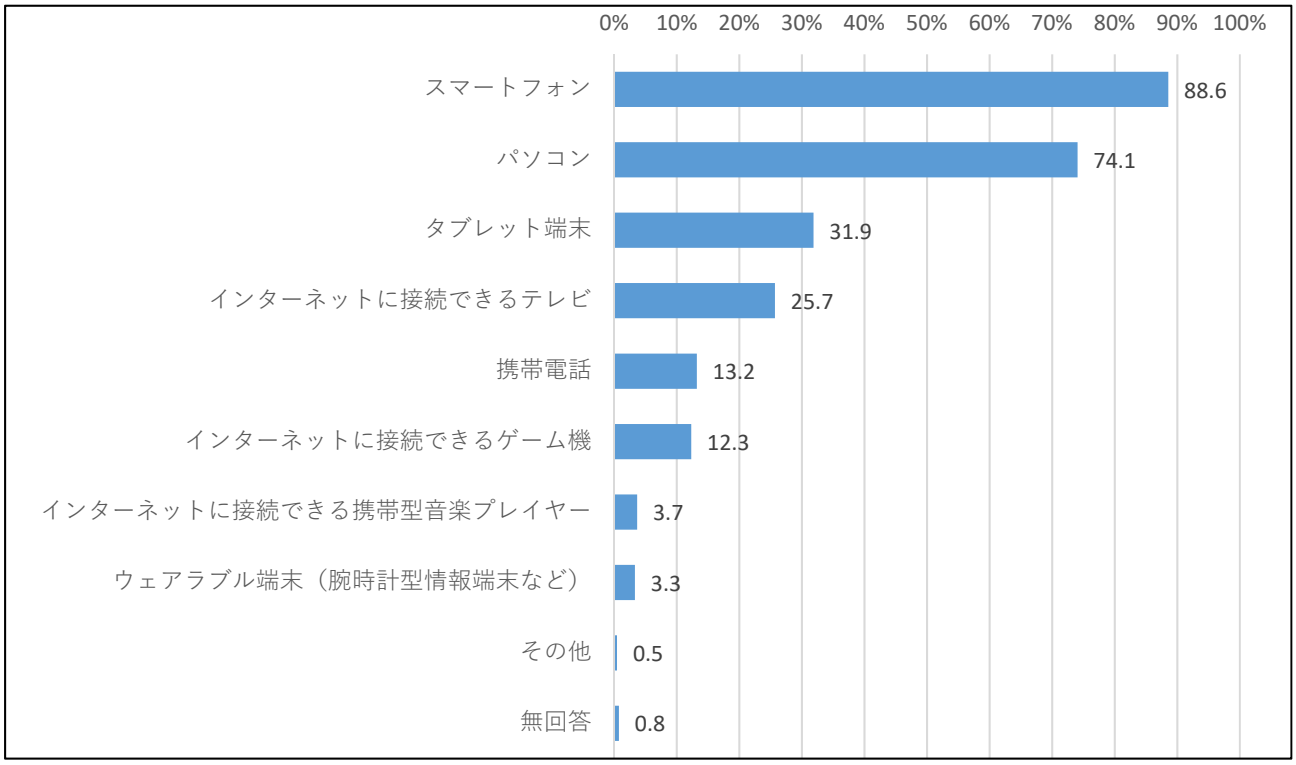
インターネットの利用について年代別に見ると、60 歳代までは利用している層がほぼ 9 割以上を占めており、70 歳代では利用している層が 6 割以上に上ります。一方で 80 歳以上では利用している層は約 3 割となっています。

（12）インターネット利用の機器

■問 12　あなたがインターネットを利用した機器は何ですか。（家族と共用している機器も含め、該当する番号すべてを選択）

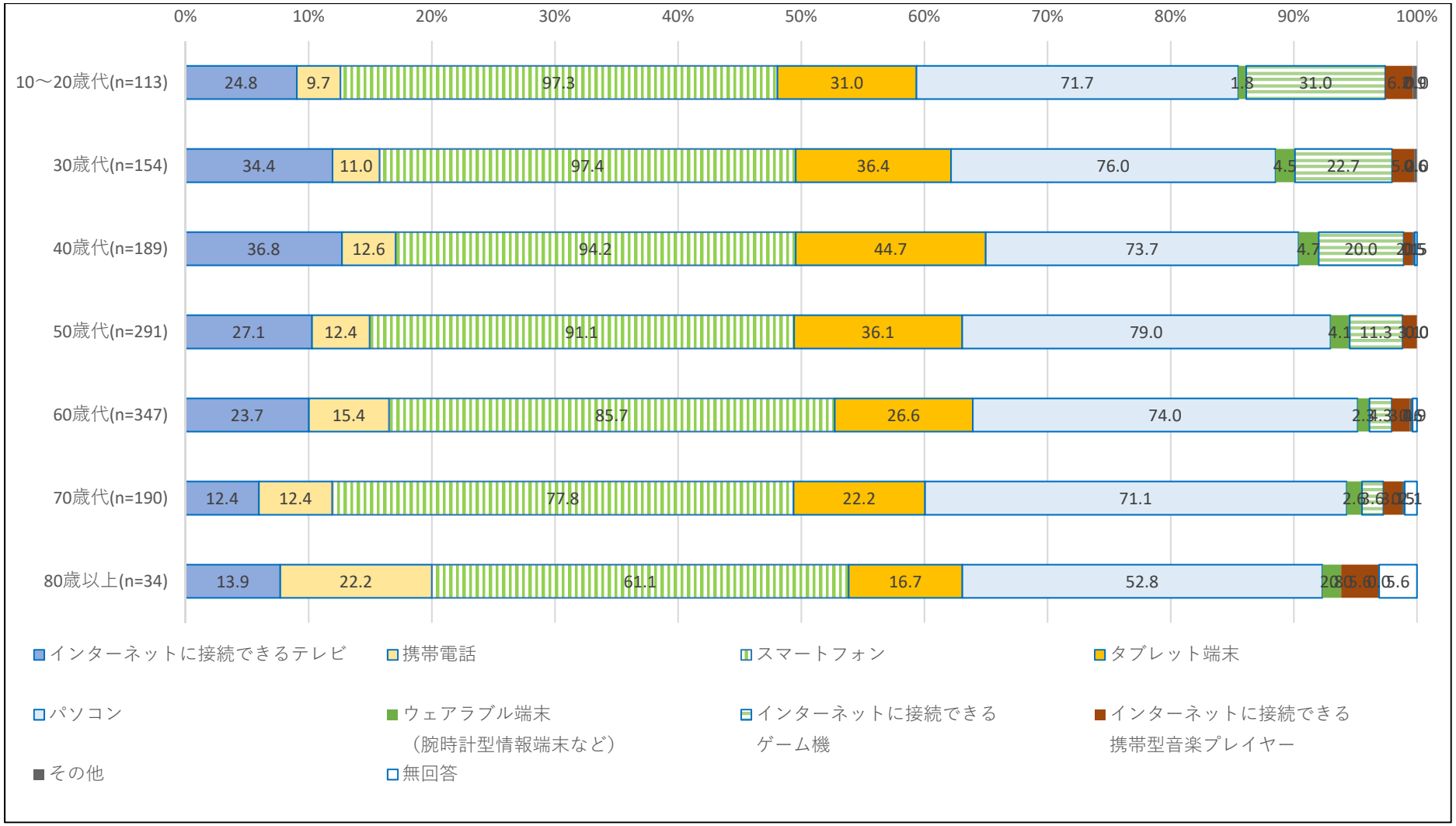
	回答数	割合(%)
1.　インターネットに接続できるテレビ	342	25.7
2.　携帯電話*10	176	13.2
3.　スマートフォン*11	1,179	88.6
4.　タブレット端末*12	424	31.9
5.　パソコン	986	74.1
6.　ウェアラブル端末*13（腕時計型情報端末など）	44	3.3
7.　インターネットに接続できるゲーム機	164	12.3
8.　インターネットに接続できる携帯型音楽プレイヤー	49	3.7
9.　その他	6	0.5
無回答	10	0.8
回答者数	1,321	

インターネット利用の機器（N=1321）



インターネット利用の機器は、「スマートフォン」が 88.6%と最も多くなっています。次いで、「パソコン」が 74.1%、「タブレット端末」が 31.9%、「インターネットに接続できるテレビ」が 25.7%となっています。

インターネット利用の機器（年代別）



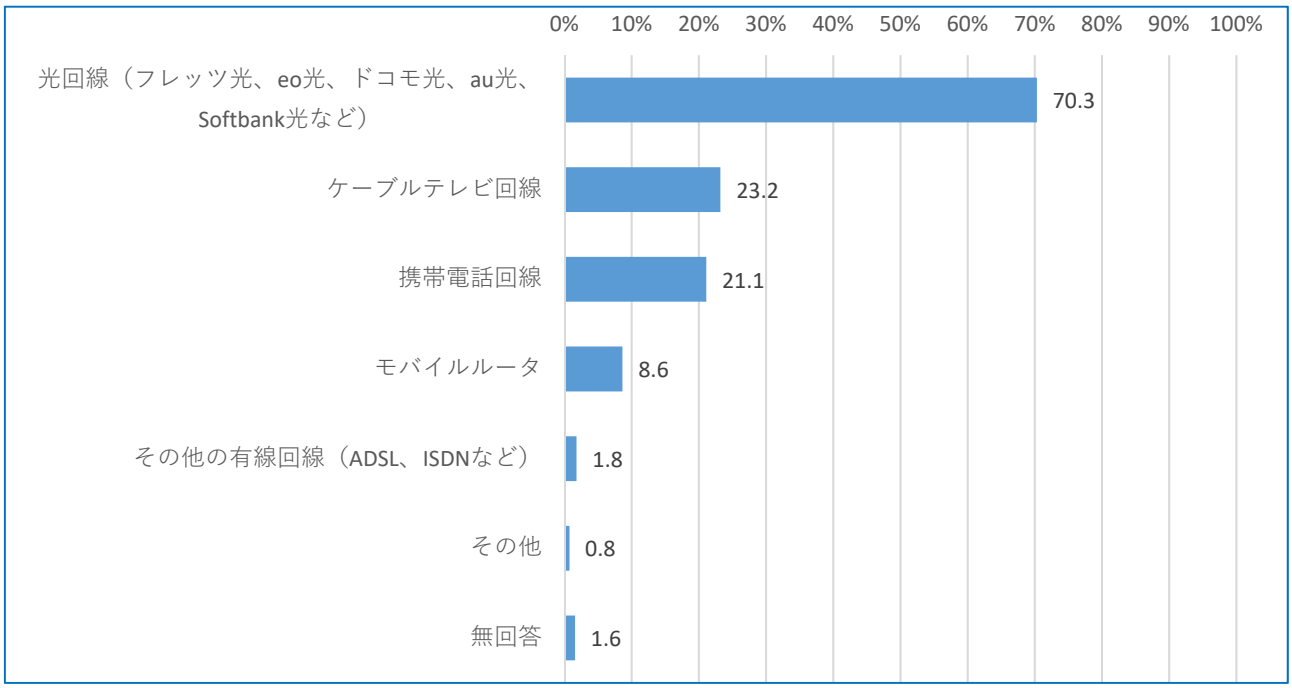
インターネット利用の機器について年代別に見ると、全ての世代でスマートフォンの利用が最も多く、パソコンは 2 番目に多くなっています。携帯電話は 80 歳以上では約 2 割となっています。

（13）インターネット接続回線の種類

■問 13　あなたの世帯では自宅でどのような回線でインターネットに接続していますか。（該当する番号すべてを選択）

	回答数	割合(%)
1.　ケーブルテレビ回線*14	309	23.2
2.　光回線*15（フレッツ光、eo 光、ドコモ光、au 光、Softbank 光など）	936	70.3
3.　携帯電話回線*16	281	21.1
4.　モバイルルータ*17	115	8.6
5.　その他の有線回線（ADSL*18、ISDN*19 など）	24	1.8
6.　その他	10	0.8
無回答	21	1.6
回答者数	1,310	

インターネット接続回線（N=1310）



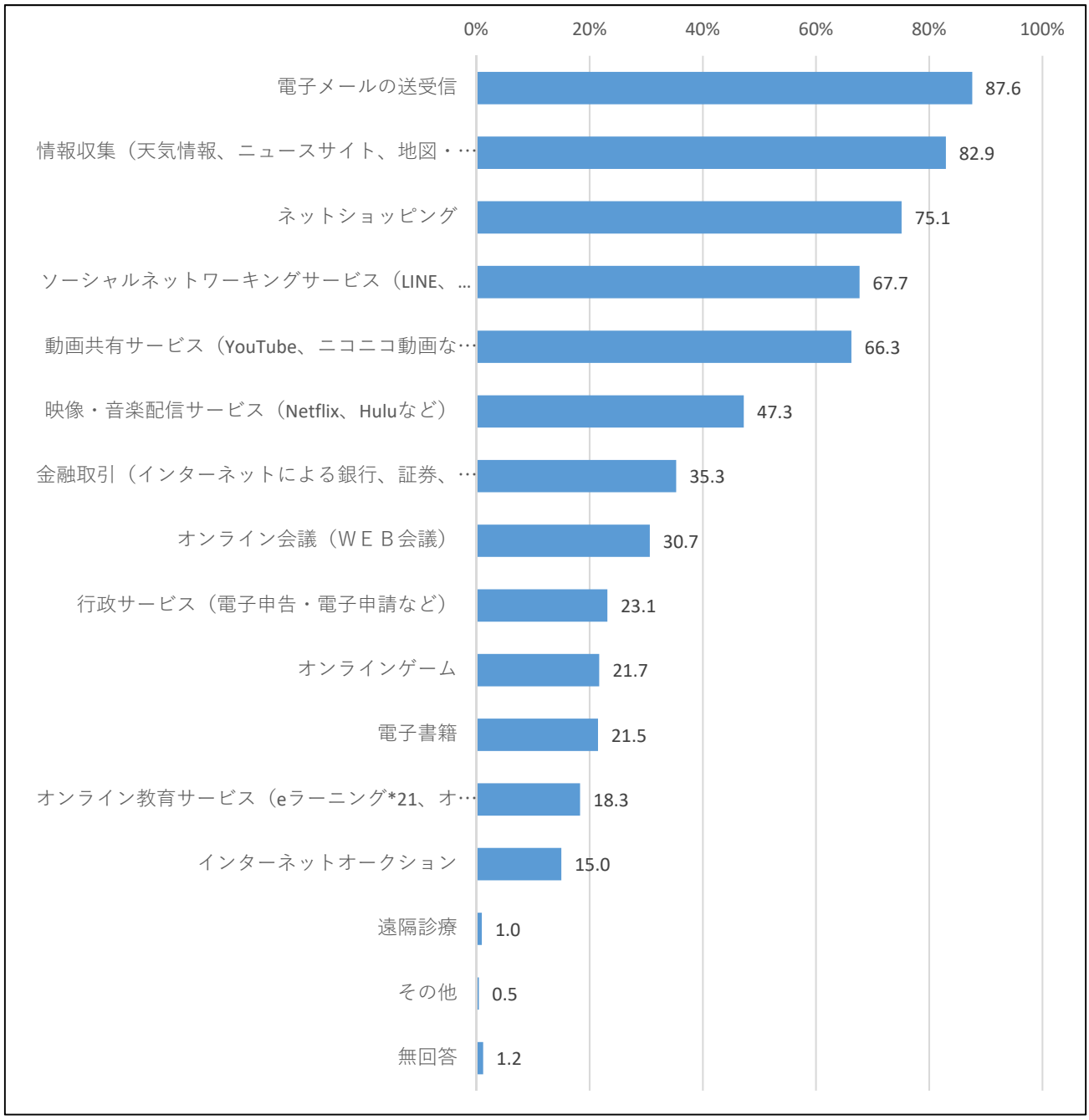
インターネット接続回線は、「光回線（フレッツ光、eo 光、ドコモ光、au 光、Softbank 光など)」が 70.3%と最も多くなっています。次いで、「ケーブルテレビ回線」が 23.2%、「携帯電話回線」が 21.1%、「モバイルルータ」が 8.6%となっています。

（14）過去１年間に利用したインターネットサービス

■問 14　あなたが自宅や自宅外を問わず、過去１年間に利用したインターネットの機能・サービスは何ですか。（該当する番号すべてを選択）

	回答数	割合(%)
1.　電子メールの送受信	1,166	87.6
2.　オンライン会議（ＷＥＢ会議）*20	408	30.7
3.　オンライン教育サービス（e ラーニング*21、オンライン授業）	244	18.3
4.　ネットショッピング	1000	75.1
5.　インターネットオークション*22	200	15.0
6.　映像・音楽配信サービス（Netflix、Hulu など）	629	47.3
7.　電子書籍*23	286	21.5
8.　情報収集（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報など）	1,104	82.9
9.　ソーシャルネットワーキングサービス（LINE、Twitter、Instagram、Facebook など）	901	67.7
10.　動画共有サービス*24（YouTube、ニコニコ動画など）	882	66.3
11.　オンラインゲーム*25	289	21.7
12.　金融取引（インターネットによる銀行、証券、保険取引など）	470	35.3
13.　遠隔診療	13	1.0
14.　行政サービス（電子申告・電子申請など）	308	23.1
15.　その他	6	0.5
無回答	16	1.2
回答者数	1,315	

過去１年間に利用したインターネットの機能・サービス（N=1315）



過去１年間に利用したインターネットの機能・サービスは、「電子メールの送受信」が 87.6%と最も多くなっています。次いで、「情報収集（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報など)」（82.9%)、「ネットショッピング」(75.1%)、「ソーシャルネットワーキングサービス（LINE、Twitter、Instagram、Facebook など)」(67.7%)、「動画共有サービス（YouTube、ニコニコ動画など)」（66.3%）の順となっています。一方「行政サービス（電子申告・電子申請など)」は 23.1%でした。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

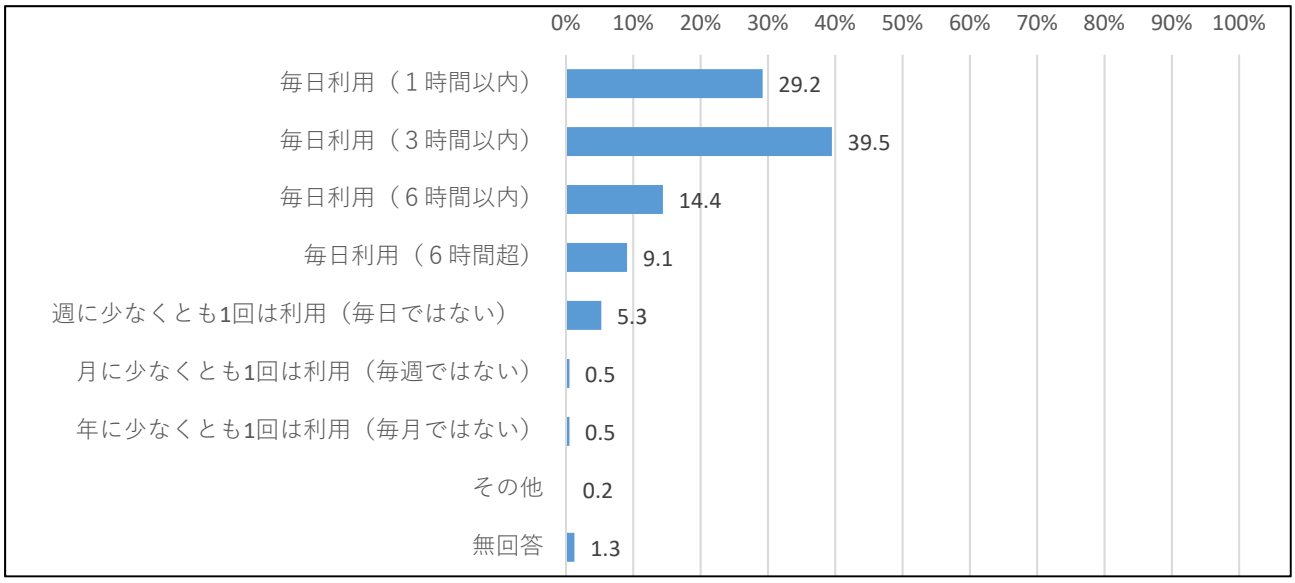
行政サービス（電子申告・電子申請など）については、電子署名や料金決済への対応によって利用できる手続きを拡大することで利便性を向上させ、利用者を増加する取り組みが必要と考えられます。

（15）インターネット利用頻度

■問 15　あなたはインターネットをどれくらいの頻度で利用していますか。（該当する番号１つを選択）

	回答数	割合(%)
1.　毎日利用（１時間以内）	389	29.2
2.　毎日利用（３時間以内）	526	39.5
3.　毎日利用（６時間以内）	192	14.4
4.　毎日利用（６時間超）	121	9.1
5.　週に少なくとも１回は利用（毎日ではない）	70	5.3
6.　月に少なくとも１回は利用（毎週ではない）	7	0.5
7.　年に少なくとも１回は利用（毎月ではない）	7	0.5
8.　その他	2	0.2
無回答	17	1.3
回答者数	1,314	

インターネットの利用頻度（N=1314）



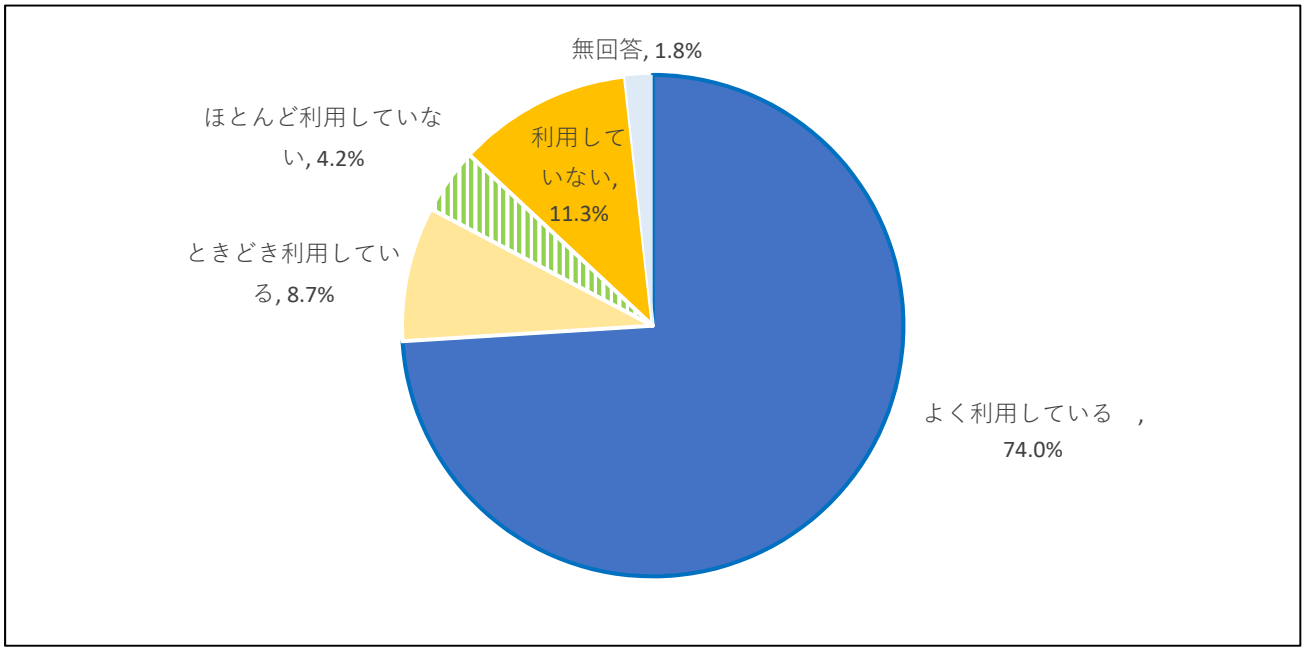
インターネットの利用頻度は、「毎日利用（３時間以内）」が 39.5%と最も多くなっています。次いで、「毎日利用（１時間以内）」（29.2%）、「毎日利用（６時間以内）」（14.4%）の順となっています。

（16）スマートフォン・タブレット端末の利用状況

■問 16　あなたはスマートフォンやタブレット端末を利用していますか。（該当する番号１つを選択）

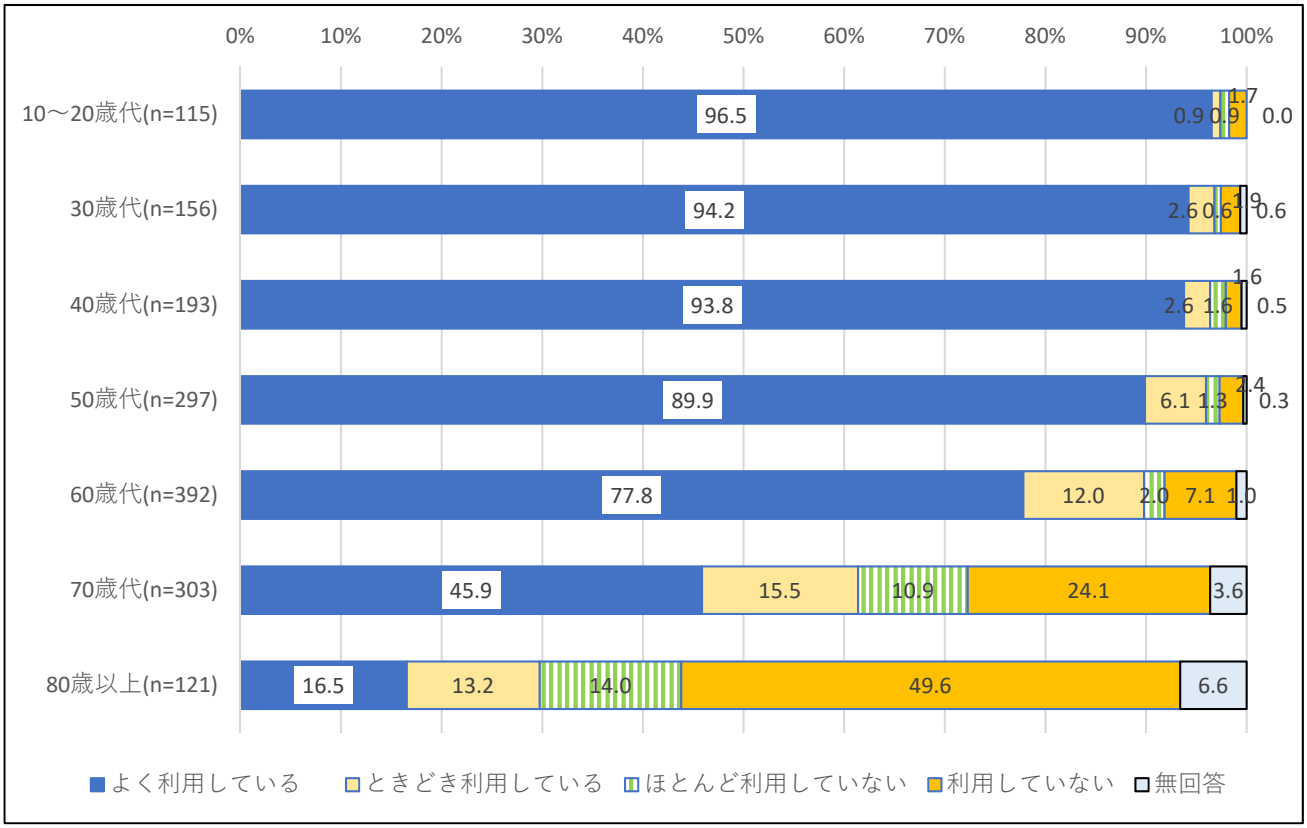
	回答数	割合(%)
1.　よく利用している	1,173	74.0
2.　ときどき利用している	138	8.7
3.　ほとんど利用していない	67	4.2
4.　利用していない	179	11.3
無回答	28	1.8
回答者数	1,557	

スマートフォンやタブレット端末の利用（N=1585）



スマートフォンやタブレット端末（スマートフォン等）を利用しているか尋ねた結果、「よく利用している」（74.0%）が最も多く、「ときどき利用している」とあわせた利用している層が 8 割を占めています。一方で「ほとんど利用していない」「利用していない」をあわせた利用していない層も 15%ほど存在しています。

スマートフォンやタブレット端末の利用（年代別）



スマートフォン等の利用について年代別に見ると、60 歳代までは利用している層が 9 割以上を占めており、70 歳代では利用している層が 6 割に上ります。一方で 80 歳以上では利用している層は約 3 割となっています。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

80 歳以上ではスマートフォン等を利用している層は約 3 割にとどまるため、利用に向けてはサポート等が必要であると考えられます。

（17）スマートフォンなどを使わない理由

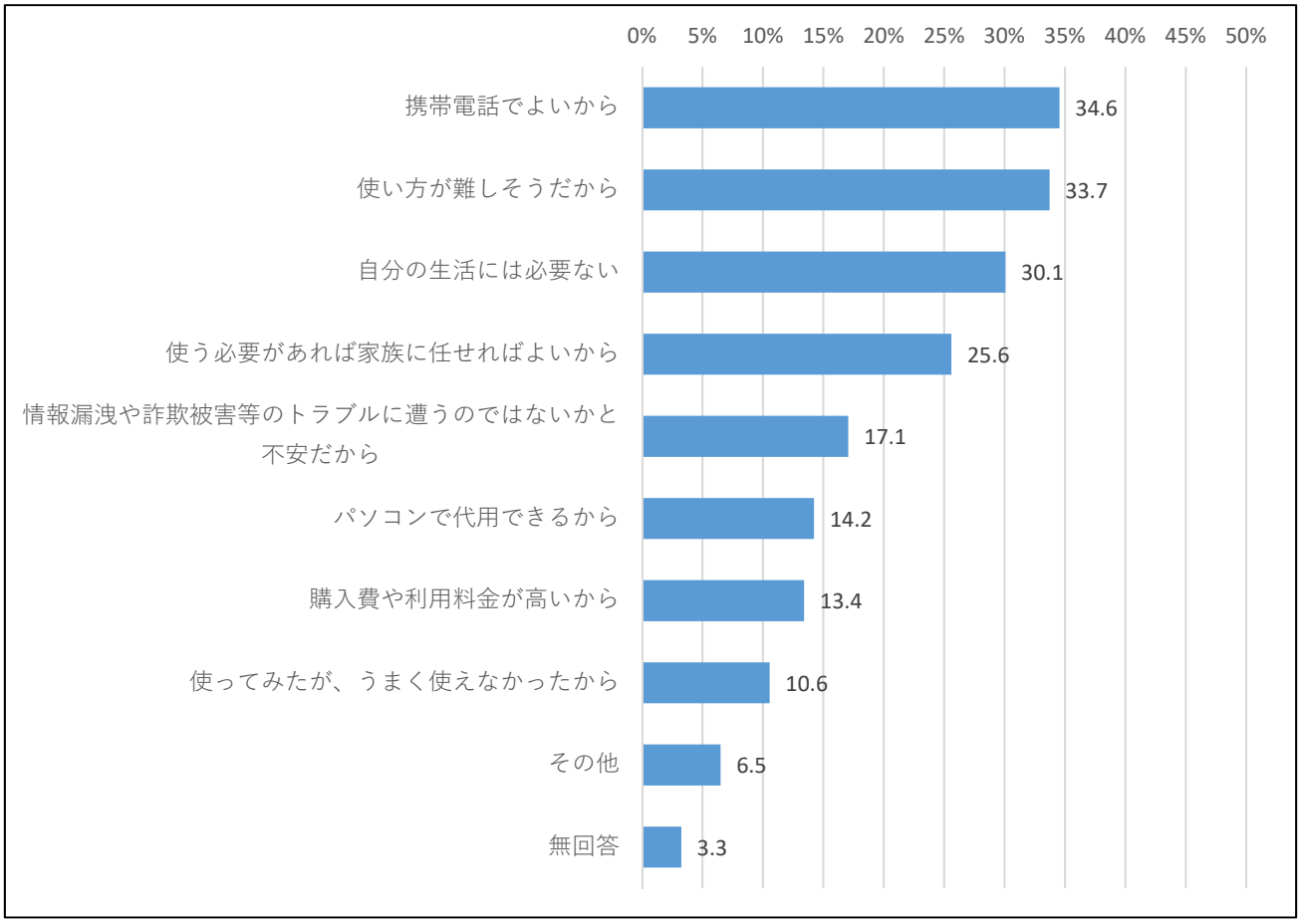
■問 17　あなたがスマートフォンやタブレット端末を利用していない理由は何ですか。（該当する番号すべてを選択）

	回答数	割合(%)
1.　使い方が難しそうだから	83	33.7
2.　使ってみたが、うまく使えなかったから	26	10.6
3.　情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安だから	42	17.1
4.　購入費や利用料金が高いから	33	13.4
5.　携帯電話でよいから	85	34.6
6.　自分の生活には必要ない	74	30.1
7.　使う必要があれば家族に任せればよいから	63	25.6
8.　パソコンで代用できるから	35	14.2
9.　その他	16	6.5
無回答	8	3.3
回答者数	238	

「9.　その他」の主な内容

・子どものスマホ依存を防止するため
・機器を持っていない。
・携帯電話でさえ使えない。
・スマホの使い過ぎになるのが嫌だから
・電波などの関係で不可
・悪報や誤報が多すぎる、あまり信用のならぬゆえ
・パソコン使用で目の痛みがひどかった。
・商品の売り込みやアプリの有料化広告で、調べる所まで時間がかかりすぎる。
・R4 年 3 月に機種が終りますガラホにするかスマホにするか迷っています
・毎日仕事をしていて忙しいから
・７０代なので人世後わずか。天国アプリでもあればやってもよい

スマートフォン等を利用しない理由（N=246）



スマートフォン等を利用していない層に利用しない理由を尋ねた結果、「携帯電話でよいから」（34.6%）が最も多く、「使い方が難しそうだから」（33.7%）、「自分の生活には必要ない」（30.1%）、「使う必要があれば家族に任せれば良い」（25.6%）が続きました。

（18）スマートフォンなどの利用につながること

■問 18　あなたは、どんなことがあればスマートフォンやタブレット端末の利用につながると思いますか。（該当する番号すべてを選択）

	回答数	割合(%)
1.　楽しさや便利さを知る機会がある	33	13.4
2.　利用することで家族や友人とのコミュニケーションが増える	18	7.3
3.　操作や設定が簡単になる	96	39.0
4.　機器の値段や通信料金が下がる	67	27.2
5.　気軽に相談できるサポート窓口がある	40	16.3
6.　操作や設定を教えてくれるスマートフォン教室などに参加する	34	13.8
7.　今後も利用したくない	61	24.8
8.　その他	12	4.9
無回答	38	15.4
回答者数	208	

「8．その他」の主な内容

・機材の操作ができるようになったら

・高齢者向けのわかりやすい機種があれば良い。（いろいろな機能は必要がない）

・個人情報の保護確立、漏洩防止

・費用は公費とすること。

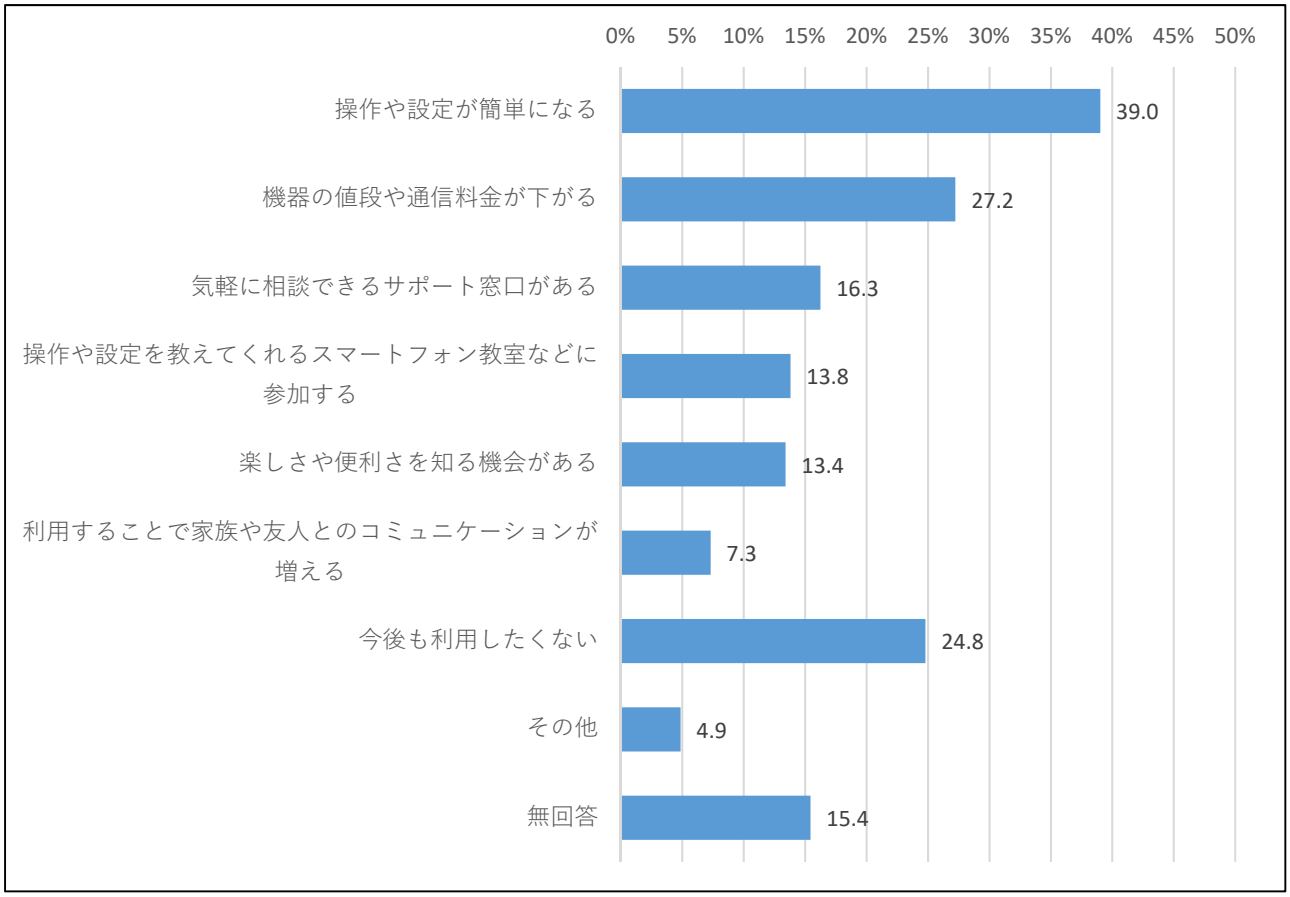
・常に家族との会話があり、必要性を感じていない。

・今からでは覚えられない

・携帯の交換時期が来たら利用を考えるかもしれません

・便利な反面、犯罪にまきこまれる危険性も

スマートフォン等の利用につながること（N=208）



スマートフォン等を利用していない層にどんなことがあれば利用につながるか尋ねた結果、「操作や設定が簡単になる」（39.0%）が最も多く、「機器の値段や通信料金が下がる」（27.2%）が続きました。

担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント
前の設問とあわせて、スマートフォン等の操作や設定についての講習会等を実施することにより、スマートフォン等の利用に向けたサポートになるものと考えられます。

（19）自由意見

■問 19　さんだ里山スマートシティに関するご意見、アイデア等がありましたら、ご自由にお書きください。

296 名（359 件）のご意見を、キーワードをもとに分類しました。主な意見は次の通りとなっています。

分類	主な意見（抜粋）	回答数（件）
デジタルデバイド	高齢者等が取り残されることなく活用できること。 デジタル化についていけない方々への配慮もお願いしたい。	56
期待する	さんだ里山スマートシティの実現に期待する。 デジタル化の推進に伴い、さらなる豊かな生活の実現を期待しています。	31
情報発信・共有	自治体と市民が様々な情報共有を迅速に行える仕組みづくり。 三田市内にある企業や商店、自治会、交通機関等の情報を一元管理したサイト。	26
分からない	「さんだ里山スマートシティ」について初めて聞いた。 「さんだ里山スマートシティ」の活動内容について、わかりやすい広報を。	26
市役所	手続きの電子化を進めてほしい。 市役所に出向かなくてもスマホや PC から手続きできる行政が望ましい。	25
スマートシティ	世代を超えて利用できるものが導入されることを期待します。 抽象的なものでなく「〇〇〇のため」をしっかり議論して欲しい。	23
通信	ネット環境の選択肢が多くなるようにして欲しい。 Free Wi-Fi などインターネット環境のさらなる整備。	20
セキュリティ	個人情報に対するセキュリティ対策の徹底。 セキュリティ対策を最優先課題ととらえて進めてほしい。	20
交通	交通量を解析して、需要に合わせた道路を整備していく。 交通機関の無人化や自動化は時間をかけて慎重に進めるべき。	17
人とのつながり	人どうしがふれあう機会が減ることは好ましくないと思う。 人と人との暖かみのある街作りが大切。	13
健康・医療	遠隔診療が行われるようになってほしい。 病院での検査結果、病歴、レントゲン等が各病院で共有できれば良い。	11
費用	予算に無駄が出ないようにすること。 シンプル低コストにて実現できる取り組みに期待する。	11
期待しない	スマートシティには期待しない。 あまりメリットが感じられない。	10

環境・ごみ	クリーンセンターの粗大ごみ収集のネット予約について。 カーボンニュートラル、CO2 削減について。	9
福祉	今後の高齢者と過疎化に対応しやすい街づくりを。	8
教育	欠席連絡が今後メールやアプリなどで行えると嬉しい。 不登校の児童生徒がオンライン授業により参加できること。	7
格差	一部の市民だけが恩恵を受けるのではなく、平等なサービスにしてほしい。 地区間で住みやすさに差が大きくならないこと。	7
自治会 地域活動	自治会からの回覧板や会費の集金方法について改善して欲しい。 地域活動に関しては「顔の見える関係」が大切だと思う。	6
マイナンバー	マイナンバーをもっと有効活用できる仕組みを構築してほしい。	5
オンライン決済	公共料金の支払いや税の支払いなどがネットで出来るように。	5
防災	さんだ防災防犯メールをもっと活用してはどうか。	4
農業	農業と IT を掛け合わせた取り組みをしてほしい。	4
商業	魅力ある店舗や街を拡充すること。	3
放送	テレビが見れない地域があるのは不公平。	3
選挙	インターネット投票ができるようにしてほしい。	2
人権	こどものいじめ問題や虐待等、人権にかかわる問題をどう克服解決するのか。	2
観光	観光客増加率日本一、三田を目指してほしい。	2
機器	ＩＴ機器を利用するのは確かに便利だが疲れる。	1
防犯	地域の見守り、防犯カメラ。	1
図書館	三田市の郷土史を全て電子化してほしい。	1

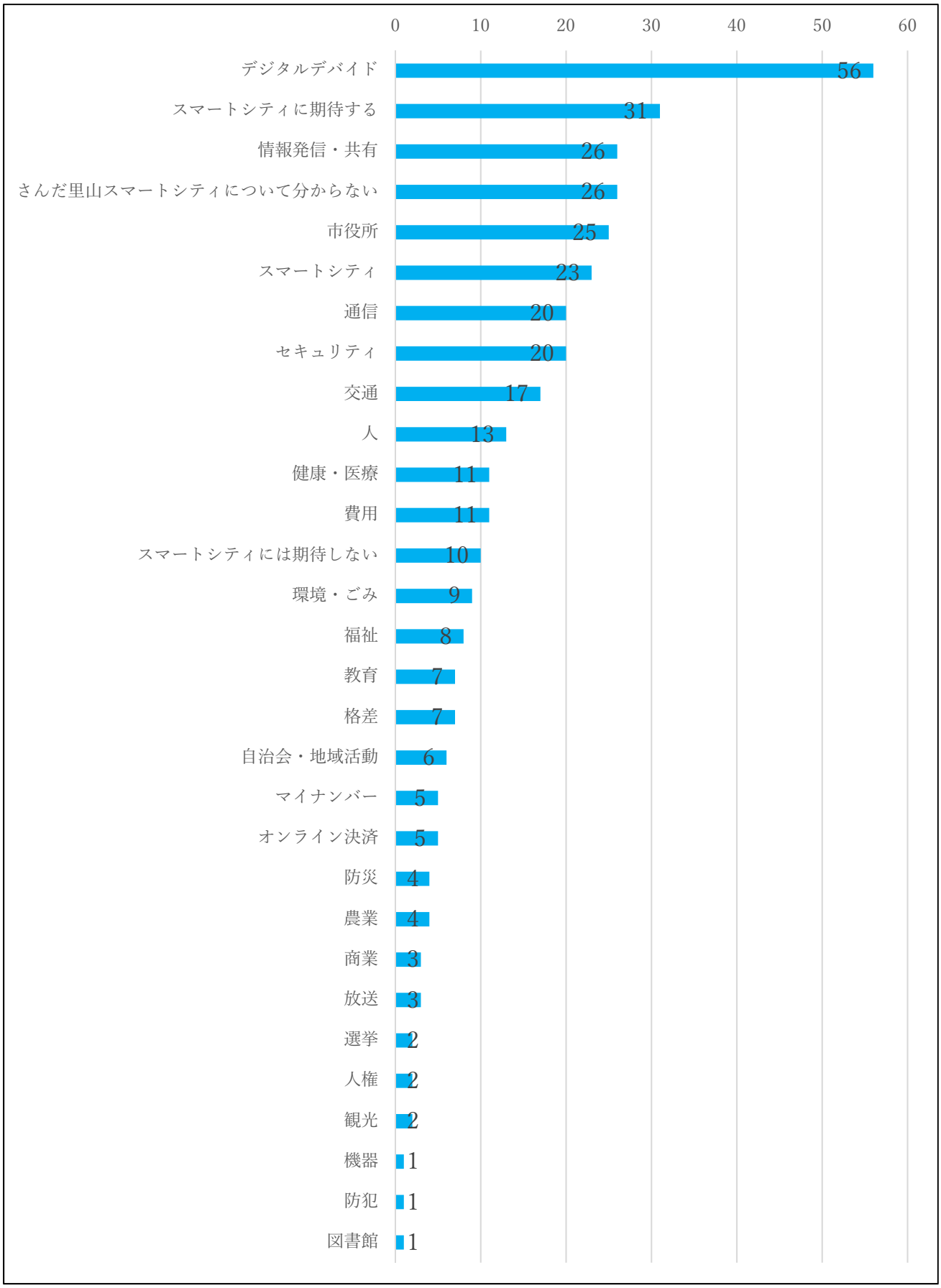
担当課（ＩＣＴ推進課）のコメント

「高齢者等が取り残されることなく活用できること」「デジタル化についていけない方々への配慮もお願いしたい」といった、デジタルデバイドへの配慮を求める意見が最も多くありました。

「スマートシティの実現に期待する」というご意見の一方で、「さんだ里山スマートシティについて初めて聞いた」というご意見もありました。

誰もがデジタル技術等の恩恵を受けることが出来るように取り組むことや、様々な情報を分かりやすく届けるように、スマートシティの取り組みを進めていきます。

自由意見（N＝359）


0
10
20
30
40
50
60
デジタルデバイド 56
スマートシティに期待する 31
情報発信・共有 26
さんだ里山スマートシティについて分からない 26
市役所 25
スマートシティ 23
通信 20
セキュリティ 20
交通 17
人 13
健康・医療 11
費用 11
スマートシティには期待しない 10
環境・ごみ 9
福祉 8
教育 7
格差 7
自治会・地域活動 6
マイナンバー 5
オンライン決済 5
防災 4
農業 4
商業 3
放送 3
選挙 2
人権 2
観光 2
機器 1
防犯 1
図書館 1

さんだ里山スマートシティに関するアンケート調査

調査ご協力のお願い

平素は、三田市の情報化行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、三田市では、デジタル技術やデータ利活用等により、様々な地域課題の解決、市民生活の質の向上、都市機能の利便性向上を図る「さんだ里山スマートシティ*1」の実現を目指した取り組みを進めることとしています。

誰もがデジタル化によるメリットを得ることができる、そのようなスマートシティ*2を市民の皆さまと共に創っていくために、現在のインターネットの利用状況やインターネット利用による生活の変化、今後のデジタル化に期待することなどを幅広くお聞きする「さんだ里山スマートシティに関するアンケート調査」を実施いたします。

三田市内にお住まいの18歳以上（約93,000人）の方の中から無作為に選ばせていただいた3,000人の方に調査票をお送りしています。デジタル機器やインターネットなどのご利用の有無に関わらず、可能な範囲でご回答いただきますようお願い申しあげます。

なお、アンケート結果は、さんだ里山スマートシティ基本構想策定のほか、本市のデジタル化を推進するための基礎資料とさせていただきますが、個人を特定することができないように処理しプライバシーを保護いたしますので、安心してご回答いただきますようお願い申しあげます。

ご回答にあたりましては簡単に回答できる**インターネット回答をご利用いただけます。**

なお、郵送による回答も可能です。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願い申しあげます。

令和3年10月
三田市長　森　哲男

（*1～25の用語の説明は、P10,11の用語集をご参照ください）

回答にあたってのお願い

この調査は、インターネット（スマートフォン・パソコン）又は郵送での回答ができます。必ず宛名のご本人が、どちらか一つの方法でご回答ください。（両方で回答された場合は、インターネットの回答を優先させていただきます）

ご本人が設問の内容や表現などがわかりにくい場合などは、ご家族の方などと相談のうえでわかる範囲でお答えください。

【インターネットの場合】

① パソコンやスマートフォンから、下記ＵＲＬ（または二次元コード）にアクセス後、設問ごとに回答してください。なお、最初の設問では**調査票番号**を入力してください。

② 回答の入力は、１０月１５日（金）２４時までにお願いします。

③ **調査票番号**はインターネット回答と郵送回答の重複を避けるために無作為に付番しています。また、アンケート調査対象者の方とは関連づけておりませんので、回答された方が特定されることはありません。

【ＵＲＬ】

調査票番号： «PASS»

（全て半角英数文字です）

【郵送の場合】

① 回答は、無記名でご記入ください。

② 設問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。
設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの案内にしたがって回答してください。

③ 「その他」にあてはまる場合は、（　　）内になるべく具体的にご記入ください。

④ 回答は、えんぴつ、ボールペンなどではっきりとご記入ください。

⑤ この調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、１０月１５日（金）までにポストに投函してください。

◎ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

三田市 経営管理部　行政管理室　ＩＣＴ推進課　スマートシティ担当
電話：(079) 559-5096（直通）　ファクス：(079) 559-6877

【１】あなた自身のことについてお尋ねします。

問１　あなたがお住まいの地区を選んでください。（該当する番号１つに〇）

1　三田地区	8　つつじが丘地区
2　三輪北部地区（志手原小学校区）	9　藍地区（つつじが丘を除く）
3　友が丘地区	10　本庄地区
4　三輪地区（三輪北部、友が丘を除く）	11　フラワータウン地区
5　広野地区	12　ウッディタウン地区
6　小野地区	13　カルチャータウン地区
7　高平地区	

問２　あなた自身が思われる性別を選んでください。（該当する番号１つに〇）

1　男性	2　女性	3　答えることができない

問３　令和３年１０月１日現在のあなたの年齢を選んでください。（該当する番号１つに〇）

1　10歳代	5　50歳代
2　20歳代	6　60歳代
3　30歳代	7　70歳代
4　40歳代	8　80歳以上

問４　あなたの世帯構成を選んでください。（該当する番号１つに〇）

1　単身	4　三世代世帯（親と子と孫）
2　夫婦のみの世帯	5　その他の世帯（　　）
3　二世代世帯（親と子）	

問５　あなたの職業を選んでください。（該当する番号１つに〇）

1　自営業（農業を含む）	5　主に家事
2　会社員・団体職員、公務員	6　無職
3　パートタイマー・アルバイト	7　その他（　　）
4　学生	
問６へ	**問７へ**

問５で「1 自営業（農業を含む）」、「2 会社員・団体職員、公務員」、「3 パートタイマー・アルバイト」、「4 学生」を選んだ方にお聞きします。

問６　通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。（該当する番号１つに〇）

1　三田市内	4　左記１、２，３以外の兵庫県内
2　神戸市北区	5　大阪府内
3　神戸市（北区以外）、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町	6　その他（　　） 都・道・府・県（いずれかに〇）

【２】デジタル化やさんだ里山スマートシティについてお尋ねします。

インターネットやスマートフォンの普及による暮らしの変化

平成以降、パソコン・インターネットなどの情報通信技術の向上により急速に進んだ情報社会ではグーグルやアマゾンなど巨大な情報産業が誕生し、インターネットを通じて様々な情報を簡単に入手したりサービスを受けることが可能となりました。

また、スマートフォンの急速な普及により、いつでも、どこでもインターネットに接続することが可能となり、私たちの暮らしは大きく変化しました。

過去１０年の生活の変化をお聞きします。

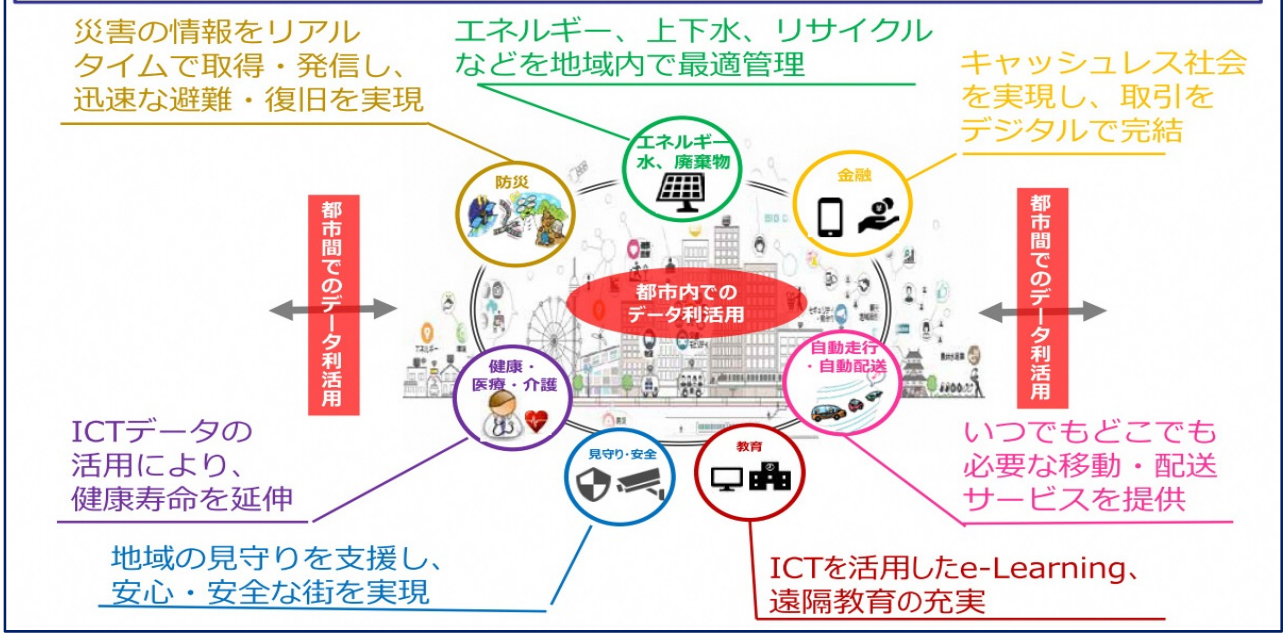
問７　インターネットやスマートフォンの普及、社会のデジタル化によってあなたの暮らしに変化があったことはありますか。（該当する番号すべてに〇）

1　ニュースや気象情報など、各種情報をインターネットで入手する
2　家族・友人との連絡に電子メール*3やソーシャルネットワーキングサービス（ＳＮＳ）*4（LINEなど）を使う
3　税金の申告や行政関係の申請・手続きをインターネットでする
4　音楽や映像をインターネットで視聴する
5　各種サービスやチケットをインターネットで予約・購入する
6　民間サービスに関する手続きをインターネットでする
7　スマートフォンのコード決済*5（PayPay、LINEPayなど）で支払いをする
8　インターネットショッピングを利用する
9　在宅勤務・テレワーク*6をする
10　オンラインで打合せや会議を行う
11　オンラインで授業を受ける
12　特に変わりはない
13　その他（

「スマートシティ」の実現

最新のデジタル技術や様々なデータを活用し、一人ひとりに寄り添った新たなサービスの提供を可能とする「スマートシティ」の未来が近づきつつあります。

・分野横断的に様々なデータを取得・利活用し、総合的なサービスの向上が期待されます。（以下はその例です）
・さらに、多都市・多分野に跨り産官学・市民が関わることで、新たな枠組みによる課題解決が期待されます。



デジタル化による今後１０年の変化に対する期待をお聞きします。

問８　今後、社会のデジタル化が進むことによって、あなたが特に期待するサービスやシステムは以下の事例のうちどれですか（該当する番号すべてに○）

1　**健康・医療**
検診情報、診療・投薬情報、体重・血圧などの情報が本人同意のもとに医療機関などで共有され、遠隔診療*7や健康アドバイスが受けられる。

2　**福祉・共生・介護**
高齢者や障害者が移動、コミュニケーション、日常生活等をスムーズに行うために簡単に使えるデジタル機器やサービスの導入が進む。

3　**働き方・産業**
オフィス以外でのテレワークが普及する。作業の安全性を高めるためにＡＩ（人工知能*8）による機械の自動化・遠隔操作が可能になる。

4　**子育て**
子どもの年齢に応じて子育てに役立つ情報が自動的に配信されたり、市のホームページなどで簡単に見つけることができる。

5　**教育**
児童・生徒ごとの理解度を判定して一人ひとりに合わせた教育を受けることができる。家庭と学校との連絡がスマートフォンなどを通じてできる。

（次頁に続きます↓）

6　**交通**
駅やバス停などへの短距離の移動を支える新たな移動サービス（無人電動カートなど）やデマンド型（予約型）乗合タクシー・自動運転バスなどが利用できる。

7　**地域活動**
電子メールやソーシャルネットワーキングサービス（ＳＮＳ）を活用し、自治会員や地域住民への情報発信・連絡を迅速化する（回覧板のデジタル化など）。

8　**農業**
ＡＩ、ＩｏＴ*9 の活用や農業機械の自動化などにより農作業の負担軽減や生産性向上を図る。

9　**防災・安全**
河川氾濫や土砂災害の危険性などが即時（リアルタイム）に通知され、避難判断や避難行動を支援する。

10　**環境・エネルギー**
家庭の電気使用量の見える化や計測データに基づく省エネ診断･省エネアドバイスが受けられる。

11　**行政**
年齢や家族構成により対象となる制度などの行政情報が電子メールやソーシャルネットワーキングサービス（ＳＮＳ）で届く。出生、転居などに伴い必要となる複数の手続きがオンラインでまとめてできる。

12　**その他**（　　）

問９　さんだ里山スマートシティの取り組みを進めるうえで、あなたが特に重視すべきと思うことは何ですか。（該当する番号すべてに〇）

1　全ての市民が等しく希望するサービスを利用できること
2　個人情報の保護に関する法令を遵守した上で、透明性の高いルール、手続きに従い、本人同意を前提に個人情報を取得、提供を行うなど、市民のプライバシーの保護を徹底すること
3　地域に根ざした持続的なスマートシティの実現のため、運営面、資金面での持続可能性を確保するこ
4　個人情報の漏洩防止や災害等の緊急事態に備えるために十分なセキュリティ対策を行うこと
5　市民にとってサービス利用料が過度な負担とならないこと
6　市民のニーズや課題を的確に反映した取り組みとなること
7　市民の視点・意見を取り入れ、使いやすく、わかりやすいサービスとなるよう常に見直し、改善を続けること
8　その他（　　）

【３】市政情報の入手方法、インターネット、情報通信機器の利用状況についてお尋ねします。

問10　あなたは三田市からの行政情報をどのような方法で入手していますか。
（該当する番号すべてに〇）

1　広報さんだ	7　SUNだっこアプリ
2　市が発行している冊子、ポスター、チラシなど	8　市の広報ラジオ番組
3　市公式ホームページ	9　一般の新聞・テレビ・ラジオ
4　市公式フェイスブック	10　一般のウェブサイト
5　市公式インスタグラム	11　その他（　　）
6　さんだ防災・防犯メール、防災アプリ	

問11　あなたはインターネットを利用していますか。（該当する番号１つに〇）

1　利用している	➜ **問12へ**
2　利用していないが、機会があれば利用したい	→ **問16へ**
3　利用していないし、今後も利用する予定はない	

問12　あなたがインターネットを利用した機器は何ですか。（家族と共用している機器も含め、該当する番号すべてに〇）

1　インターネットに接続できるテレビ	6　ウェアラブル端末*13（腕時計型情報端末など）
2　携帯電話*10	7　インターネットに接続できるゲーム機
3　スマートフォン*11	8　インターネットに接続できる携帯型音楽プレイヤー
4　タブレット端末*12	9　その他（　　）
5　パソコン	

問13　あなたの世帯では自宅でどのような回線でインターネットに接続していますか。
（該当する番号すべてに〇）

1　ケーブルテレビ回線*14	4　モバイルルータ*17
2　光回線*15（フレッツ光、eo光、ドコモ光、au光、Softbank光など）	5　その他の有線回線（ADSL*18、ISDN*19など）
3　携帯電話回線*16	6　その他（　　）

問14　あなたが自宅や自宅外を問わず、過去１年間に利用したインターネットの機能・サービスは何ですか。（該当する番号すべてに〇）

1　電子メールの送受信 2　オンライン会議（ＷＥＢ会議）*20 3　オンライン教育サービス（eラーニング*21、オンライン授業） 4　ネットショッピング 5　インターネットオークション*22 6　映像・音楽配信サービス（Netflix、Huluなど） 7　電子書籍*23 8　情報収集（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報など）	9　ソーシャルネットワーキングサービス（LINE、Twitter、Instagram、Facebookなど） 10　動画共有サービス*24（YouTube、ニコニコ動画など） 11　オンラインゲーム*25 12　金融取引（インターネットによる銀行、証券、保険取引など） 13　遠隔診療 14　行政サービス（電子申告・電子申請など） 15 その他（　　）

問15　あなたはインターネットをどれくらいの頻度で利用していますか。（該当する番号１つに〇）

1　毎日利用（１時間以内） 2　毎日利用（３時間以内） 3　毎日利用（６時間以内） 4　毎日利用（６時間超）	5　週に少なくとも1回は利用（毎日ではない） 6　月に少なくとも1回は利用（毎週ではない） 7　年に少なくとも1回は利用（毎月ではない） 8　その他（　　）

問 16　あなたはスマートフォンやタブレット端末を利用していますか。（該当する番号１つに〇）

1　よく利用している 2　ときどき利用している → 問 19 へ	3　ほとんど利用していない 4　利用していない → 問 17 へ

問 16 で「３　ほとんど利用していない」、「４　利用していない」を選ばれた方にお尋ねします。

問 17　あなたがスマートフォンやタブレット端末を利用していない理由は何ですか。
（該当する番号すべてに〇）

1　使い方が難しそうだから	6　自分の生活には必要ない
2　使ってみたが、うまく使えなかったから	7　使う必要があれば家族に任せればよいから
3　情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安だから	8　パソコンで代用できるから
4　購入費や利用料金が高いから	9　その他（　　）
5　携帯電話でよいから	

問 16 で「３　ほとんど利用していない」、「４　利用していない」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18　あなたは、どんなことがあればスマートフォンやタブレット端末の利用につながると思いますか。（該当する番号すべてに〇）

1　楽しさや便利さを知る機会がある	5　気軽に相談できるサポート窓口がある
2　利用することで家族や友人とのコミュニケーションが増える	6　操作や設定を教えてくれるスマートフォン教室などに参加する
3　操作や設定が簡単になる	7　今後も利用したくない
4　機器の値段や通信料金が下がる	8　その他（　　）

問19　さんだ里山スマートシティに関するご意見、アイデア等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

インターネットでの回答は、10月15日（金）24時までに入力を完了してください。この調査票で回答される場合は同封の返信用封筒に入れて、10月15日（金）までに、投函してください。ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

三田市 経営管理部　行政管理室　ＩＣＴ推進課　スマートシティ担当
電話：(079) 559-5096（直通）　ファクス：(079) 559-6877

Mail：smartcity@city.sanda.lg.jp

用語集

*1	さんだ里山スマートシティ	三田市では市街地、農村地域、ニュータウン、それぞれの地域の個性を活かしながら、デジタル技術やデータを活用して誰もが暮らしやすいまちを実現するための取り組みを推進しています
*2	スマートシティ	デジタル技術や様々なデータを活用し、一人一人に寄り添ったサービスの提供を可能にし、生活の質の向上や新たな価値創出による経済循環の促進、社会課題の解決を図るまちづくりの取り組み
*3	電子メール	インターネットを用いて、コンピュータや携帯電話でやり取りする電子版の手紙。 文章のほかファイルを添付することもできる
*4	ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）	登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービス（LINE、Twitter、Instagram、Facebookなど）
*5	コード決済	利用者のスマートフォンあるいは決済端末により、バーコードもしくはQRコードを読み取ることで決済（支払い）する決済方法
*6	テレワーク	情報通信技術を活用し、場所や時間を有効に活用できる柔軟な働き方のこと。テレワークの形態は、業務を行う場所に応じて、在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイル勤務に分類される
*7	遠隔診療	医師－患者間において、情報通信機器を通して、患者の診察及び診断を行い診断結果の伝達や処方等の診療行為を、リアルタイムにより行う行為
*8	人工知能	人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム
*9	ＩｏＴ	Internet of Thingsの略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出す
*10	携帯電話	無線で通信し、会話のほかインターネットにアクセスしたり、電子メールのやり取りもできる従来型の携帯電話。文字等を入力するための物理的なキーボード（ボタン）を持つ。スマートフォンと区別される。フィーチャーフォンとも呼ばれる
*11	スマートフォン	従来型の携帯電話が持つ電話や通信機能などに加え、高度な情報処理機能を持つ携帯端末。利用者が使いたいアプリケーションをインストールして利用することができる。液晶ディスプレイの表示画面にタッチして操作する
*12	タブレット端末	薄い板状のパソコンやモバイル端末の総称で、液晶ディスプレイの表示画面にタッチすることで操作する持ち運び可能なコンピュータ

*13	ウェアラブル端末	腕や頭部等の身体に装着して利用するICT端末の総称。腕時計型などのウェアラブル端末を通して体重や血圧、心拍数、歩行数、消費カロリー、睡眠の質、食事内容といった日々の活動のデータを収集することができる
*14	ケーブルテレビ回線	ケーブルテレビ配線を利用したインターネット接続回線
*15	光回線	光ファイバーを利用したインターネット接続回線
*16	携帯電話回線	携帯電話の電波を利用したインターネット接続回線
*17	モバイルルータ	パソコン、タブレット端末などをインターネットに接続する際に利用する持ち運びができる小型の通信端末
*18	ADSL	一般の電話回線を利用したインターネット接続回線
*19	ISDN	一般の電話回線を利用したインターネット接続回線（サービス名：INS64, INS1500）
*20	オンライン会議（WEB会議）	映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話（会議）をすることができるシステム
*21	eラーニング	パソコンやスマートフォン、タブレット端末などの情報通信機器やインターネットを使った学習のこと
*22	ネットオークション	インターネット上のオークションサイトに出品されている商品に希望者が入札し、指定期間内に最高価格を提示して落札した人が商品を購入できる仕組み
*23	電子書籍	本をパソコンや携帯端末などの情報機器で読めるようにしたデジタルコンテンツ
*24	動画共有サービス	個人などがアップロード（インターネットのサーバにデータを送ること）した動画を見たり見てもらったりできるサービス
*25	オンラインゲーム	パソコンやスマートフォン、タブレット端末、ゲーム専用機器などから、インターネットを経由して、他のコンピュータとデータを交換しながらゲームを進めるコンピュータゲーム

（参考）調査票

さんだ里山スマートシティに関する
アンケート調査結果報告書

発行年月　　令和４年１月
発　　行　　三田市　経営管理部 行政管理室　ＩＣＴ推進課
〒669－1595　三田市三輪２丁目１番１号
電　　話：079－559－5096（直通）
ＦＡＸ：079－559－6877